



安息日聖書教科

クリスチヤンの関係

Vol. 93, No.2

2017年4月-6月

目次

創造主とその被造物	5
イエス・キリスト：わたしたちの模範	10
聖霊—わたしたちの神なる導き手	15
神との個人的な歩み	20
黄金律を生きる	25
あなたの友を選ぶ	31
めとることと嫁ぐこと	36
クリスチャン家族	41
親戚と共に生活する	46
教会家族	52
教会：世に対する光	57
事業における忠実	62
統治権力に対するわたしたちの義務	67

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

セブンスデーアドベンチス
ト改革運動世界総会安息
日学 校 部 (P.O.Box 7240
Roanoke, Virginia 24019-
0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.93, No.2

編集&発行：
S D A改革運動日本ミッション

〒 368 - 0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

FAX : (0494) 40-1045

URL :
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト : DesignPics on
the front cover and Map
Resources on pp. 4, 46, 72;
Adobe Stock on pp. 25, 72.

まえがき

わたしたちの品性は自分が形成する関係によって大いに影響を受けます。神がわたしたちの生活において最も重要な感化力を持つべきです。なぜなら、このお方との関係がわたしたちの他のすべての関係に影響するからです。神はわたしたちの創造主であられ、このお方はわたしたちの救い主、また人生を通じての導き手になりたいと望んでおられます。

「キリストを個人的な救い主として信じる生きた信仰がなければ、この懐疑的な世において影響力を感じさせるのは不可能である。わたしたちは自分自身所有していないものを他の人々に与えることはできない。わたしたちが人類を祝福し、高く掲げるための感化力を働かせるのは、キリストへの熱意と献身に比例している。もし実際の奉仕、本物の愛、現実の経験がなければ、助ける力も、天とのつながりも、生活におけるキリストの香りもない。聖霊がわたしたちをイエスのうちにあるがままの真理を世に伝達するための代理者として用いることができなければ、わたしたちは味を失った塩のようなものである。自分たちがキリストの恵みに欠如していることによって、わたしたちは自分が信じると主張している真理には聖化させる力がないと世に証するのである。こうして、わたしたちは自分の感化力が及ぶ限り、神の言葉を効果のないものとするのである。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1905 年 7 月 27 日)

「わたしたちの命は、キリストの生命と結びつかなければならない。わたしたちは、常にキリストから受け、天から降った 生きたパンであるキリストを食べ、いつも新鮮に、豊かに清水という宝を注ぎ出す泉の水を飲まなければならない。いつも、主を目の前にあおいで、主に感謝と賛美をささげているならば、わたしたちの信仰生活は常に新鮮さを保つことができる。わたしたちの祈りは、ちょうど友人と語るように、神との会話のかたちになり、神は、わたしたちに個人的に、神の神秘について語りかけてくださるのである。わたしたちは、しばしば、尊いイエスの臨在を身近に感じることもある。昔、神がエノクと語られたときのように、神がわたしたちに近づかれると、わたしたちの心中も燃えるのをおぼえる。こうしたことがほんとうに、クリスチャンの経験となるときに、その クリスチャン生活には、純真、けんそん、柔和、心のひくさなどがいちじるしくなり、接するすべての人に、彼がイエスと共にあって、イエスから学んだ者であることを感じさせるのである。」(キリストの実物教訓 107～109)

わたしたちがイエスを自分の個人的な救い主、また友として受け入れるとき、このお方は、他のすべての関係において、わたしたちを導いてくださいます。このお方はわたしたちが近い友人を賢明に選ぶのを助けてくださいます。わたしたちは自分の友人や家族にとって祝福となります。他の人々に手を差し伸べる際、信仰における兄弟姉妹たちと共に働くようになります。わたしたちは律法と秩序を尊ぶようになります。どのように神や周囲の人々と確かな関係を築くことができるかを学ぶために、今期「クリスチャンの関係」について研究するときに、神がわたしたちを助けて下さり、人類に対する神の愛を表してくださいますように。

世界総会安息日学校支部

第一安息日献金 モスクワの教会拡張のために

モスクワは、ロシア、すなわち世界最大の国であり、9 番目に人口の多い国の首都です。調査では人口のおよそ 70% がクリスチャンであり、オーソドックス教会が最大の教派となっています。大都市モスクワには 2000 万人以上の人口がいます。この都市はロシアや近隣諸国の最大の交差点です。毎日何百万もの人々が様々な国や大陸からここを横断していきます。



ここでの改革の働きは、共産時代に、牧師たちが一時的にこの都市に在住していたときに始まりました。集会のための建物はありませんでしたので、信徒たちは個人のアパートに集まらなければなりませんでした。

「ロシア、すなわち……神の御目にはわたしたちの魂と同様に尊く、この時代のための特別な真理を何も知らない何百万もの人々のふるさとで真理を提示する人々に偉大な働きが委ねられている。」(伝道 408)

2001 年に、一人の牧師とその家族がこの地域の働きのために派遣されました。2002 年に信徒たちはモスクワに未完成の建物のある一画の土地を購入しました。同年、建物の建設を完成し、礼拝の家として献堂しました。働きが発展するにつれ、地所はロシアフィールドの本部となりました。この都市から中央アジア諸国、ベラルーシやラトビアの働きが行なわれています。

この地域における働きは発展し、多くの訪問者、未信者、また他の教派の代表者たちがわたしたちの集会を訪れますが、教会には出席者全員のための座席がありません。このため、教会を拡張することが決定されました。

現在、わたしたちは同じ土地にもっと大きな教会を建設しています。しかし、わたしたちの資金ではこの事業を完成させるのに不十分です。皆さんのお祈りと資金的な援助が必要です。皆さんが参加してくださることにより、多くの人々がこの教会に来ることができます! 皆さんと共に、わたしたちはすべての捧げ物を覚えて祝福し、すべての祈りを聞いてくださるという神の約束の成就を見たいと願っています! わたしたちは皆さんの助けと支援を感謝しています!

モスクワの皆さんの兄弟姉妹より

創造主とその被造物

「神はまた言われた、『われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとを治めさせよう。』」（創世記 1:26）

「地球が、数多くの動物と植物で満たされてから、創造主のみわぎの冠であり、この美しい地球に住むのにふさわしい人間が、活動の舞台にのぼってきた。」（人類のあけぼの上巻 18）

推奨文献：人類のあけぼの上巻 1～28

日曜日

3月26日

1. 創造の喜び

a. 神が造られたすべてのものを、聖書はどのように描写していますか（創世記 1:31）。

「地球が創造主のみ手によって造られたとき、それは非常に美しかった。その表面には、山……があって変化に富み、きれいな川や美しい湖水が……あった。……どちらを向いても、優雅な灌木や優美な花が視線をとらえた。……回りのけしきは、どんなりっぱな宮殿の飾り立てられた庭園よりも、はるかに美しかった。天使の群れは、その光景をながめて感激し、神のすばらしいみわぎに歓喜の声をあげた。」（人類のあけぼの上巻 17, 18）

b. 何のゆえに、わたしたちは神をほめたたえるべきですか（詩篇 139:14）。

「生ける神の実在の証拠は、単に理論の中にあるのではない。それは神のみ言葉によって照らされ、説明されて、わたしたちの心に神が記してくださった確信の中にある。それは聖霊に啓発された目によって見るこのお方の創造のみわぎの中の生きた力にある。」（教会への証 8 巻 325）

2. わたしたちの世界の目的

- a. すべての被造物の起源に関して、聖書は何を教えてくださいか（創世記 2:4; コロサイ 1:16）。

「宇宙の統治者は、その恵み深いお働きをひとりではなさらなかった。彼には助け手があった。すなわち、彼の目的を理解し、幸福を与えることを、共に喜び合える共労者であった。……父はみ子によって天のすべての住民をお造りになった。」（人類のあけぼの上巻 2, 3）

「神は語られた。そしてこのお方のみ言葉が自然界にこのお方のみわざを創造した。神の創造は、このお方の意向を即座に行なうためにこのお方が用いる用意のできた手段の宝庫にすぎない。」（彼を掲げよ 66）

- b. 神は何の目的のために世界を創造されましたか（イザヤ 45:18; 黙示録 4:11）。

「神はこの地上をきよく、幸福な人間の住居となるように創造された。その御目的は、この地上が神の御力によって更新せられ、罪と悲しみから解放されて、救われた者の永遠の住居となるときに達成されるのである。」（アドベンチスト・ホーム 624）

- c. アダムとエバはどのように創造されましたか。神は彼らのためにどのような計画を持っておられましたか（創世記 1:26; 詩篇 8:5, 6）。

『神のみかたちと栄光』（コリント第一 11:7）として創造されたアダムとエバは、そのとうい身分にふさわしい才能をさずけられていた。優美で均整のとれた肢体、美しくととのった容貌、健康と喜びと希望にかがやく顔色、彼らのそうした外観は、創造主のみかたちに似ていた。このように似かよった点は、ただ肉体の面ばかりではなかった。知能と魂のあらゆる面に、創造主の栄光が反映していた。アダムとエバは、『御使いたちよりも低』（ヘブル 2:7）、くつくられ、高い知的および霊的な賜物を授けられていた。それは、彼らが目に見える宇宙の神秘を認識するばかりでなく、また霊的な責任と義務を理解することができるように与えられたのであった。」（教育 10）

3. エホバ、真の生ける神

a. 主、真の神は、どのように他の神々と区別されていますか（エレミヤ 10:11, 12）

「森林のあらゆる葉に、山々の岩石に、すべての輝く星に、大地に、大気に、大空に、神のみ名がしるされていた。造られた世界の秩序と調和は、無限の知恵と力を彼らに語った」。(人類のあけぼの上巻 27)

b. なぜ神は他のすべてのものにまさって、わたしたちの従順と敬神をことごとく受けるにふさわしいのですか（イザヤ 42:5; 45:5; 詩篇 139:13, 15, 16）。

「永遠に自存し、創造されたおかたでなく、自らすべてのものの根源であって維持者であられる主だけが、最高の尊敬と礼拝をお受けになる資格がある。人間は、主以外のなにものをも第一に愛して奉仕することを禁じられている。神に対するわれわれの愛を減少させたり、神にささげるべき奉仕をさまたげるようなものを心にいだくときに、われわれはそれを自分の神としているのである。」(同上 356)

c. 神に対する御使たちの態度から、わたしたちは何を学ぶことができますか（イザヤ 6:1-3; 詩篇 96:8, 4）。

「神のみ前にくるすべての者の態度は、けんそんで敬神深いものでなければならぬ。われわれは、イエスのみ名によって、確信を持ってみ前に出ることができるが、あたかも神がわれわれと同等であられるかのように、無遠慮な態度で近づくべきではない。近づくことのできない光の中に住み、偉大で、全能であられる聖なる神にむかって、あたかも同等か、あるいは目下のものに話しかけるような言葉を用いる人がある。また、神の家の中において、地上の王たちの謁見室では決してしないような不謹慎な態度をとる人がある。これらの人々は、自分が今、セラピムたちが賛美をささげ、み使いたちもそのみ前にあつて翼をもって顔をおおう神のみ前にあるということをおぼえていなければならない。神は大いに尊ばなければならないかたである。」(同上 286)

「イエスの真の信徒であるすべての男女は、神への最高の愛を示すようになる。……わたしたちはこのお方の被造物であり、御手のわざである。そしてこのお方には敬神と誉と愛を得る資格がある。」(サインズ・オブ・タイムズ 1897年3月4日)

4. 命の賦与者なる神

- a. 神は初めの人にどのように命をお与えになりましたか(創世記 2:7)。神は命を与えることがおできになるがゆえに、どのように描写されていますか(詩篇 36:9)。

「神がご自分の像に似せて人を造られたとき、そのかたちはすべての点において完全であつたが、生命がなかった。そこで個性をそなえておられる神が、そのかたちに生命の息を吹き入れた。そこで初めて人間は生ける、理性のある生物となった。人体のあらゆる部分が活動を開始し、(ミストリー・オブ・ヒーリング 388)

「生物の身体の中に鼓動する心臓、脈、あらゆる神経、筋肉はつねに存在しておられる神の力によって秩序を保ち、活動を続けているのである。」(同上 391)

- b. アブラハムは、命を回復することができる神の力について、何を信じましたか(ヘブル 11:19)。

「〔父と息子が〕神が指定された場所へ来ると、彼はそこに祭壇を築き、まきを順序よく重ねた。さて、ささげ物の用意ができると、アブラハムはイサクに向かって、神はお前を燔祭としてささげるようにお命じになっているのだと知らせた。アブラハムは神がイサクを通して、自分を大いなる国民にしてくださいと幾度も仰せになった約束をくりかえして聞かせ、神の命令を実行してイサクを殺しても、神はイサクを死から甦らせてくださるにちがいないから、神の約束は成就されるのだと語って聞かせた。」(生き残る人々 99, 100)

- c. 将来、この力はどのように表されますか(ローマ 8:11; コリント第一 15:51-54)。

「神のみ子の声が、眠っている聖徒たちを呼び起こすと、地は激しく揺れた。彼らはその呼び声に応じて、輝かしい不死を身にまとい出てきた。……それから、生ける聖徒たちと、よみがえった聖徒たちが声をあわせ、無我夢中になって高らかに勝利の叫びをあげた。病氣と死のしるしを負って墓にくだっていた人々は、不死と健康と活力をもって現れた。生ける聖徒たちは、またたく間に変えられ、よみがえった聖徒たちと一緒に、空中において主に会った。」(初代文集 463)

5. 神の家族の一部として創造された

- a. 神に対するアダムとの関係はどのように描写されていますか（創世記 1:27; ルカ 3:38）。堕落の前、彼の性質はどのようなものでしたか。

「人間は、外観においても、品性においても、神のかたちを保っているはずであった。キリストだけが、天の父の『本質の真の姿』ではあるが）、人間は、神に似せて造られたのである（ヘブル 1:3）。彼の性質は、神のみ旨と調和していた。人間の知力は、神の事物を理解することができた。彼の愛情は清く、食欲や情欲は理性の支配のもとにあった。彼は、神のかたちをしていて、神のみ旨に完全に服従していたので、清く、幸福であった。

人間が創造主によって造られたとき、彼は背が高く、完全に均整がとれていた。彼の顔は、血色がよく、生命と歓喜の光に輝いていた。アダムの子長は、今日のどれよりも、はるかに高かった。エバは、アダムよりは少し低かったが、その姿は気高く、美しかった。」（同上 20）

- b. 神はすべての魂にどのような自由をお与えになりましたか（ローマ 14:12, 5（下句））。

「愛の律法が神の統治の基礎であるから、すべての知的存在者の幸福は、その偉大な義の原則に彼らが完全に一致することにかかっている。神は、造られたすべてのものから愛の奉仕、すなわち、神の品性を理解することによってわきおこってくる崇敬を受けることを望まれる。神は、強制された服従をお喜びにならない。そして、神はすべての者に自由意志を与えて、彼らが、自発的に神に奉仕できるようになった。」（同上 3）

個人的な復習問題

1. 神をもっと十分に知るとき、このお方とわたしたちとの関係にどのような影響を及ぼしますか。
2. 創造における神のご目的は何でしたか。
3. 神とそのみ旨への従順は、どのようにわたしたちがこのお方を崇敬するように助けますか。
4. わたしたちの存在そのものが、どのようにエホバに依存していますか。
5. なぜ神は、わたしたちとの関係において、わたしたちに選択の自由をお与えになったのですか。

イエス・キリスト：わたしたちの模範

「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ。」(ヨハネ 13:15)

「神に対する愛、神のみ栄えをあらわそうとする熱心、墮落した人類に対する愛のゆえに、イエスはこの世においてになって、苦難を受け、死なれたのである。これがイエスの一生を支配した力であった。この原則をとり入れるようにと、イエスはわれわれに命じておられる。」(各時代の希望中巻 50)

推奨文献：各時代の希望上巻 63 ～ 69, 中巻 197 ～ 205

日曜日

4月2日

1. 人としてのイエス

- a. イエスは地上におられる間ずっとどの資質を表してこられましたか (ピリピ 2:8; ルカ 22:42)。

「優しく、憐れみ深く、同情深く、いつでも他の人々を考慮される〔キリストは〕神のご品性を表し、いつでも神と人とのための奉仕に従事しておられた。……ご自分に従う人々が、人性のうちにいられたイエスのようになるのが、神の意図しておられることである。このお方の力のうちに、わたしたちは救い主が生きられた純潔と高潔の生涯を送るべきである。」(神のむすこ娘たち 21)

- b. 地上におけるイエスの生涯の焦点は何でしたか (ヨハネ 17:4; 4:34; 詩篇 40:8)。

「イエスはわれわれの会うあらゆる試みに耐えられた。しかも彼はわれわれに自由に与えられていない力をご自分のためにお使いにならなかった。人間としてイエスは試みに会い、神から与えられた力で勝利された。『わが神よ、わたしはみこころを行うことを喜びます。あなたのおきてはわたしの心のうちにあります』と、主は言われる (詩篇 40:8)。イエスが、よい働きをし、サタンに苦しめられているすべての者をいやしながらお歩きになったとき、彼は神の律法の性格と神への奉仕の本質とを人々に明らかにされた。イエスの一生は、われわれもまた神の律法に従うことができることを証明している。」(各時代の希望上巻 9)

2. 神を第一とする

- a. わたしたちは自分の生活において何を最高の優先事項とすべきですか（マタイ 6:33; テサロニケ第一 2:11, 12）。

「奉仕にむすびつけるくびきは神の律法である。エデンであらわされ、シナイで布告され、新しい契約のもとに心にしるされる偉大な愛の律法は働く人間を神のみこころにむすびつけるものである。……『わたしが天から下ってきたのは、自分のこのままを行うためではなく、わたしをつかわされたかたのみこころを行うためである』（ヨハネ 6:38）。……イエスは彼らに、まず神の国と神の義とを求めなさいと命じられる。そうしたらこの世の生活に必要なものはすべて加えられると、主は約束しておられる。」（各時代の希望中巻 50）

- b. 神に完全に従うために必要なことは何ですか（エレミヤ 29:13; ルカ 14:33; ガラテヤ 2:20）。

「心を尽くして神を求めなさい。……真心から、魂の飢えのうちに神を求めて叫びなさい。あなたが勝利を得るまで天の代理人たちと格闘しなさい。あなたの全存在、すなわち魂も体も霊も主のみ手のうちにおき、このお方の愛する献身した代理人となり、このお方のみ旨によって動かされ、このお方の思いによって支配され、このお方の御霊によって吹き込まれるものとなることを決心しなさい。」（わたしたちの高い召し 131）

- c. わたしたちが神との深い関係に入り、自らを完全に神に明け渡すとき、何が明白な結果となりますか（イザヤ 26:3; マタイ 5:16）。

「キリストをみことば通りに信じ、自分の魂をキリストの守りにゆだね、その生活をキリストの命令に従わせる者には、平安とおだやかさがある。イエスがそのご臨在によって彼らをよろこばせてくださるとき、この世のどんなものも彼らを悲しませることができない。ただ黙々として従うことに完全な休みがある。……われわれの生活は混乱しているようにみえるかも知れない。しかし賢明な巨匠であられる神に自分自身をまかせるとき、神はご自身の栄えとなる生活と品性の型をつくり出される。」（各時代の希望中巻 53）

3. 愛の奉仕の生涯

- a. キリスト教の二つの基本的な原則は何ですか (マタイ 22:36-40)。わたしたちはどのようにして自分の隣人に対する愛を表現しますか (ルカ 10:29-37)。

「よいサマリヤ人の物語を通して、キリストは真の宗教の本質を例示しておられる。真の宗教は、制度や、信条や、儀式にあるのではなくて、それは愛の行為を実行すること、他人に最高の幸福をもたらすこと、真の親切さにあることを、キリストは示しておられる。……

人の運命は律法の全体に従うことによってきまるのである。神への最高の愛と、人へのわけへだてのない愛は、生活に実行されなければならない原則である。」(各時代の希望上巻 300)

- b. 世に対する奉仕の生涯のために、何がわたしたちの基礎であるべきですか (ヨハネ第一 4:11, 12; 3:16-18)。

「純粋なクリスチャンは主に対する深い愛に基いて行動する。キリストに対する愛の根源から、兄弟に対する無私の関心が芽生える。愛は……顔を輝かせ、声を和らげ、その人全体を上品、高尚にする。」(ミニストリー・オブ・ヒーリング 475)

- c. イエスの生涯の使命は何でしたか (ルカ 19:10)。

「イエスは幼い時から一つの目的を持っておられた。それは他人を祝福するために生きるということだった。」(各時代の希望上巻 63)

「イエスは苦しんでいる人々をごらんになるたびに彼らを救うために働かれた。イエスはお与えになるお金はほとんどなかったが、ご自分よりも困っているようにみえる人々を救うためにたびたびご自分の食事をぬかれた。……イエスは人の気持を察する能力をもっておられたが、それは〔イエスの兄弟たち〕のうちのだれも持っていないし、また持とうとも思わないものだった。彼らがあわれな墮落した人々に荒々しいことばを投げかけると、イエスはその人たちのそばに行って励ましのことばを語られた。イエスは困っている人々に一杯の冷たい水を与え、ご自分の食物を静かに彼らの手におかれるのだった。イエスが彼らの苦しみをやわらげておやりになると、イエスのお教えになった真理はその情け深い行為とむすびつき、人々の記憶にきざまこまれた。」(同上 85)

4. 他の人々の霊的な必要のために働く

- a. イエスがなされたように他の人々に奉仕するために、わたしたちはどの品性の特徴を必要としていますか（ピリピ 2:5-8; ルカ 22:26; マタイ 23:11, 12）。

「その生活と教訓を通して、キリストは、神にみなもとがある無私の奉仕について完全な実例をお与えになった。神はご自分のために生活されない。世界を創造することによって、また万物をささえることによって、神はたえずほかのもののために奉仕しておられる。『天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さる』（マタイ 5:45）。この奉仕の理想を、神はみ子に託されたのである。イエスが人類のかしらに立つために与えられたのは、奉仕することがどういうことであるかをご自分の模範によって教えるためであった。イエスの一生は奉仕の法則の下にあった。主はすべての人に仕え、すべての人に奉仕された。こうして主は、神の律法を生活し、ご自分の模範によって、われわれが神の律法にどのように従うべきかを示された。」（各時代の希望下巻 125, 126）

- b. イエスは特にどの分類の人々に、助けを求めてご自分の許へ来るよう促しておられますか（マルコ 10:13--16）。

「イエスはご自分のもとにつれてこられた子供たちのうちに、主の恵みの相続人またキリストのみ国の民となる男女をごらんになったが、その中のある者たちは、キリストのために殉教者となるのであった。……イエスはお教えになるとき、子供たちの水準にまでくだられた。天の君であられるイエスは、子供たちの質問に答えることや、大切な教訓を彼らの幼稚な理解力に向くようにわかりやすくすることをおろそかにされなかった。イエスは彼らの頭に真理の種をうえつけられたが、それは後年になって芽を出し、永遠の生命にいたる実を結ぶのであった。」（同上中巻 320, 321）

- c. その他、イエスはわたしたちがどの人と共に働くことを望んでおられますか（ルカ 5:32）。

「〔贖い主〕はわたしたちの世に希望と救いのメッセージを伝えることによって御父を表すために来られた。このお方はご自分のために生きられなかった。このお方はご自分の安逸や楽しみを考慮されなかった。このお方は誘惑に屈しなかった。そして、このお方は罪深い人類が贖われ、ご自分が彼らのために用意される住まいに永遠に住むことができるために、死に至るまで低く下ってこられた。このお方の使命は自分たちの罪のうちに死につつまる魂に教えることであった。

この働きをキリストはご自分が買われた一人びとりに課しておられる。」（彼を掲げよ 208）

5. 神はわたしたちを通して働いておられる

a. イエスの力の源は何でしたか (ヨハネ 14:10)。

『もしキリストがわたしたちの心のうちに住んでくださるならば、キリストはわたしたちのうちに働いてその願いを起こさせ、かつ実現に至らせ』て下さる (ピリピ 2:13)。キリストがお働きになったようにわたしたちも働き、その同じ精神をあらわすようになる。こうしてキリストを愛し、キリストのうちにあって、わたしたちは『あらゆる点において成長し、かしらなるキリストに達』(エペソ 4:15) するようになるのである。」(キリストへの道 102, 103)

b. わたしたちもまた、どのようにしてこの経験を得ることができますか。またその結果は何ですか (ヨハネ 15:7)。

『あなたがわたしにつながっておりわたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう』。祈るとき、この約束を思い浮かべなさい。聖なる大胆さをもって神のみもとに來られることは、わたしたちの特権である。神の光をわたしたちの上に照らしてくださいと、まごころから神に求めるなら、神はわたしたちの祈りを聞き、答えてくださる。わたしたちは自分の祈りに調和した生活をしなければならない。祈りに反する歩みをしていたは、何の役にも立たない。」(家庭の教育 542, 543)

「たしかにキリストがあなたのうちにおられること、あなたの心が砕かれ、従順で、へりくだっていることを確かめなさい。神はへりくだった悔いた者だけをお受入れになる。天は一生の辛抱強い努力をするだけの価値がある。しかし、それは何物にも代えがたい価値がある。神はあなたがご自分のうちに奮闘するなら、あなたが努力する際、助けてくださる。」(教会への証 4 巻 259)

個人的な復習問題

1. イエスはこの地上におられたとき、どのように神のご品性を表しておられましたか。
2. わたしたちはどのようにして神だけがお与えになることのできる平安と休息を見出すことができますか。
3. 神への愛は何へと導きますか。またこの愛はどのように現れますか。
4. イエスをご自分の前に連れてこられた子供たちのうちに何をご覧になりましたか。またこのお方は彼らにどのように奉仕なさいましたか。
5. 「自分たちの祈りに調和して生きる」とは、どういう意味ですか。

聖霊—わたしたちの神なる導き手

「また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで『これは道だ、これに歩め』と言う言葉を耳に聞く。」（イザヤ 30:21）

「神格は、人類への憐れみに掻き立てられた。そして御父、御子、聖霊は贖いの計画の実行を引き受けられた。」（神の驚くべき恵み 190）

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 43～54
わたしたちの高い召し 150-154

日曜日

4月9日

1. 神格の第三位

- a. どのように、聖霊が個性を持っておられることがわかりますか（コリント第一 2:11; ローマ 8:16, 26）。

「聖霊は個性を持っておられる。そうでなければこのお方はわたしたちの霊に対して、またわたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることを証することはおできにならないはずである。またこのお方は神なるお方でなければならない。そうでなければ、このお方が神のみ思いの中に隠れている秘密を探ることはおできにならないはずである。」（伝道 617）

「神が神格を持っておられるのとまったく同様に神格を持っておられる聖霊が、この地を歩んでおられることを自覚する必要がある。……〔アヴンデール学校の学生への講和より〕」（同上 616）

- b. どのお三方の名をもってバプテスマを受けるべきですか。それはなぜですか（マタイ 28:19）。

「天のお三方として生ける神格がおられる。これらの偉大なお三方—御父、御子、そして聖霊—の権能のみ名のうちに生きた信仰によってキリストを受け入れる人々はバプテスマを受ける。そしてこれらの権能者たちは、天の従順な臣民がキリストのうちに新しい生涯を送ろうと努力するとき、彼らと協力してくださるのである。」（同上 615）

2. 天来の教師

- a. 聖書の中で聖霊にはどの別の名が与えられていますか。またこのお方はわたしたちのためにどの働きをなさいますか (ヨハネ 14:16, 26)。

「助け主は『真理の御霊』と呼ばれている。助け主の働きは真理を明らかにし、これを守ることである。助け主はまず真理のみたまとして心に住み、こうして助け主となられる。真理には慰めと平安があるが、虚偽には真の平安も慰めもない。サタンが人の心を支配する力を手に入れるのは偽りの説や言い伝えを通してである。サタンは人々を偽りの標準へ向けることによって、まちがった品性を形成する。聖霊は、聖書を通して心に語り、真理を心に印象づける。こうしてみたまは誤りをばくろし、それを魂から追い出される。キリストが選民をご自身に心服させられるのは、真理のみたまが神のみことばを通して働くことによってである。」(各時代の希望下巻 156)

- b. 聖霊はまたどのようにわたしたちにとって案内者となられますか (ヨハネ 16:13)。

「もし人々が作りかえられることを望むならば、全人格のきよめがなし遂げられるであろう。み霊は神に関する事柄を取り、それを魂に刻みつける。み霊の力によっていのちの道は明らかにされ、そこではだれも過ちをおかす必要がない。」(患難から栄光へ上巻 50)

「『すべてのものをきわめ、神の深みまでもきわめる』お方、すなわち神の民にすべてを思い起こさせ、あらゆる真理へ導くことを働きとしておられるお方が、神の聖なるみ言葉を調べるときに、わたしたちと共にいて下さることができる。」(牧師への証 111)

- c. 聖霊がわたしたちの思いに真理を印象づける一つの方法は、何ですか (ルカ 24:32)。

「このお方が御父の許へ昇天された後に送ると約束された聖霊は、絶えずカルバリーの十字架上の偉大な公認の犠牲へ注意を引き、人に対する神の愛を世に明らかにし、聖書の中の尊い事柄を有罪宣告を受けた魂に開くために働いておられる。」(キリストを映して 132)

3. 再生する代理人

a. 御霊の働きを述べなさい (ヨハネ 3:8)。

「わたしたちは神の御霊を見ることはできないが、罪過と罪のうちに死んでいた人々が、御霊の働きの下で罪を自覚し、改心するのがわかる。無分別でわがままな者がまじめになる。頑なな者が自分たちの罪を悔い改め、信仰のない者が信じるようになる。賭博者、大酒飲み、放蕩者が、落ち着き、素面（しらふ）になり、純潔になる。反逆的で頑固だった者が柔和でキリストのようになる。わたしたちが品性のうちにこれらの変化を認めるとき、神の改心させる力が人全体を変えたのだということを確認することができる。わたしたちは聖霊を目に見ないが、頑なで頑固な罪人であった人々の変えられた品性に、その働きの証拠を認める。力強く風が高い木々に吹きつけてなぎ倒すように、聖霊は人々の心に働くことができる。そして有限な人間はだれも神のみ働きを制限することはできないのである。」（伝道 288）

b. 御霊はどのように心に印象を残しますか (ヨハネ 16:8)。

「真理が御霊に伴われて心に伝わるときに初めて、良心を目覚めさせ、生活を変えるのである。牧師は神のみ言葉の文字を提示することができるかもしれない。彼はそのすべての命令と約束に通じているかもしれない。しかし、彼の福音の種まきは、その種が天の露によって命への息吹を入れられない限り、成功しない。神の御霊の協力がなければ、どれほど教育があっても、どれほど有利な点が大きくても、人を光の通路とすることはできないのである。」（福音宣伝者 284）

「聖霊以外にだれが、思いの前に義の道徳的な標準を提示し、罪を自覚させ、悔いのない悔い改めへと導く信心深い悲しみを生じさせ、あらゆる罪から救う唯一のお方を信じる信仰を働かせるよう靈感を与えるであろうか？」（キリストを映して 132）

「もし聖霊が絶えず働く再生の代理人として、世の贖い主によってなされた事をわたしたちのために効力のあるものとしなかったならば、神のひとり子をご自身をへりくだらせ、ずる賢い敵の誘惑に耐え、この地上での全生涯において敵と戦い、人類が減びないように義なるお方が不義なる者のために死んだことは、わたしたちにとって何の益となったことであろう？」（レクテッド・メッセージ 3 巻 137）

4. 心における聖霊の働き

- a. 聖霊はどのように正しいことを行うよう、わたしたちを促しますか（イザヤ 30:21）。

「神のみこころをなす者、神が示された道を歩む者にとって、つまずいて倒れるということはありません。神のみちびきのみたまの光は、彼の義務について明らかなさとりとを与え、その働きの終りまで彼を正しくみちびく。」（各時代の希望中巻 340）

「しかし、キリストに真実でありたいと願う人々は、次のように言う声に聞き従う『これは道だ、これに歩め』（イザヤ 30:21）。彼らは義人の道が彼ら自身の心の道より、進むのが困難で、従うのが苦しいにも関わらず、その道をたどることを決心するのである。」（彼を知るために 251）

- b. わたしたちの弱さにおいて、御霊はどのように助けてくださいますか（ローマ 8:26）。

「わたしたちの仲保者キリストと聖霊は絶えず、人のためにとりなしておられる。しかし、御霊はわたしたちのために、世のはじめから流された血を提示されるキリストのようにはとりなされません。御霊はわたしたちの心に働きかけ、祈りと悔悟、賛美と感謝を引きだす。わたしたちの唇からあふれる感謝は、御霊が聖なる記憶のうちに魂の弦を奏で、心の音楽を呼び覚ました結果である。」（SDA パイプ・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1077, 1078）

- c. 聖霊は、わたしたちの改心において、どのような役割を果たしますか（エゼキエル 36:25-27）。

「人は教会員となり、外見上は熱心に働き、毎年一連の義務を果たしながらも、改心していないことがあります。……しかし真理が真理として心に受け入れられるとき、それは良心を刺し通し、魂をその純潔な諸原則をもってとらえる。真理が聖霊によって心のうちに置かれ、聖霊はその美しさを思いに明らかにし、こうして真理の変化させる力が品性において見られるのである。」（キリストを映して 217）

5. 罪に定められることがない

- a. わたしたちが神の御霊に導かれるとき、神の前にあるわたしたちの立場について、何と記されていますか (ローマ 8:1)。

「であるから、わたしたちは自分のものではなく、価をもって買われたものである。『あなたがたが先祖伝来の空疎な生活からあがない出されたのは、銀や金のような朽ちる物によったのではなく、きずも、しみもない小羊のようなキリストの尊い血によったのである』(ペテロ第一 1:18, 19) とある。神を信じるというこの簡単な行為によって、聖霊はわたしたちの心に新しいいのちを与えて下さる。わたしたちは神の家族の子供として生れたのである。であるから、神はみ子愛されるようにわたしたちを愛してくださるのである。

さて、あなたは自分をキリストにささげたのであるから、退いたり、また自分を取りもどしたりしてはならない。ただ日ごとに「わたしはキリストのものです。わたしは自分をキリストにささげました」と言って、キリストの御霊を与え、キリストの恵みによってささえて下さるようこのお方に求めよう。自らを神にささげ、神を信じる時神の子となるのであるから、そのように神にあつて生活しなければならない。使徒パウロも、『あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのだから彼にあつて歩きなさい』(コロサイ 2:6) と述べている。」(キリストへの道 67)

- b. そのとき、わたしたちのイエスに対する関係はどれほど緊密なものとなりますか(マタイ 10:20)。

「こうしてキリストがわたしたちのうちに働かれるならば、わたしたちは、キリストと同じ精神を表わし、同じ業— 正しい行為、つまり服従をするようになるのである。……

わたしたちの唯一の希望は、わたしたちに着せられるキリストの義、そして、わたしたちのうちに働き、わたしたちを通して働いてくださる聖霊の働きにある。」(キリストへの道 83)

個人的な復習問題

1. 聖霊は御父と御子に対してどのような関係を持っておられますか。
2. 聖霊は思いに真理を印象づけるために、どのように働いていますか。
3. 聖霊がだれかの生涯に働いていることが、どのようにわかりますか。
4. 聖霊は、どのようにわたしたちのためにとりなしておられますか。
5. 聖霊が心のうちに新しい命を生むとき、わたしたちは日ごとに何をしよう導かれますか。

神との個人的な歩み

「主の恵みふかきことを味わい知れ、主に寄り頼む人はさいわいである。」(詩篇 34:8)

「神はご自分のかたちをあなたの中に回復したいと願っておられる。このお方があなたの助け主であることを信じなさい。このお方と親しくなることを決心なさい。あなたが告白と悔い改めをもって、このお方に近づくとき、このお方は憐れみと許しをもってあなたに近づいてくださる。」(ビュー・アンド・ヘルド 1912 年 2 月 15 日)

推奨文献：教育 299 ～ 309

日曜日

4月16日

1. 心の変化

- a. わたしたちの生来の心は何のようですか。そして神はそれと引き換えに、何をあげようと望んでおられますか (エレミヤ 17:9; エゼキエル 36:26)。

「イエスが新しい心について述べられるとき、それは思い、命、全存在を指している。心の変化を持つということは世から愛情を引き上げて、それをキリストに集中させることである。新しい心を持つということは、新しい思い、新しい目的、新しい動機を持つということである。新しい心のしるしは何であろうか—変化した生活である。日ごとに、時間ごとに自己と誇りに死んでいるのである。」(神の驚くべき恵み 100)

- b. わたしたちが新しい心を受けるとき、神はどの経験を持ってほしいと望んでおられますか (ヨブ 22:21; エレミヤ 24:7)。

「真理に到達したいとのまじめな目的をもって探求するとき、それがどの分野であっても、わたしたちは万物のうちにまた万物を通して働いておられる目に見えない力づよい知的存在者に触れるようになる。人の思いは神の思いに、有限な者が無限のお方との交わりに導き入れられる。このような交わりが体と思いと霊に与える感化は計り知れない。

この交わりの中に、最高の教育が見いだされる。」(今日のわたしの生涯 264)

2. 自分たちの父として、神に信頼する

a. 聖書から最高の信頼を示すどのような模範がありますか（ルカ 23:46; 創世記 22:7-9）。

「恐ろしい暗黒のさなかに、神に見すてられたようにみえる中であって、キリストは人間の苦悩のさかずきを最後の一滴まで飲みほされた。その恐るべき時に、主は、ご自分が天父に受け入れられたことについて、これまで与えられていた証拠によりたのまれた。イエスは天父の性格をよく知っておられた。イエスは天父の正義、あわれみ、大きな愛をわかっておられた。父に従うことがイエスのよろこびであつたが、信仰によってイエスは父に信頼された。こうして、服従のうちにご自分をまったく神にまかせられたときに、天父の恩恵が失われたという意識はなくなった。信仰によってキリストは勝利者となられた。」（各時代の希望下巻 279）

b. 神を信頼することには、何が含まれていますか（箴言 3:5, 6）。

「親愛なる兄弟方、あなたが世の中を進んでいくとき、自分自身の理解に頼るなら、悲しみと失望を刈り取ることになる。心を尽くして主に信頼しなさい。そうすればこのお方は知恵のうちにあなたの歩みを導き、あなたの利益はこの世においても、来世においても安全である。」（教会への証 5 巻 427）

c. 生来、わたしたちはだれに信頼をおく傾向がありますか。また神はわたしたちにどのような助言を与えておられますか（詩篇 118:8, 9; 箴言 29:25）。

「わたしたちが生涯においてどの地位を占めても、わたしたちの仕事が何であつても、助けの必要を感じるだけのへりくだりがなくてはならない。わたしたちは神のみ言葉の教えに絶対的により頼み、万事においてこのお方のみ摂理を認め、祈りのうちに自分たちの魂を注ぎだすのに忠実でなければならない。」（同上）

「個々人はみな、熱心な祈りによって、自分で神のみ言葉を知り、それからそれを行うことを求めなければならない。……公にも私的にも、あなたのすべての重荷を主の許へたずさえ、このお方を待ち望みなさい。あなたはその時、個人的な体験を持ち、このお方のご臨在と、知恵と指示を求めるあなたの祈りを聞こうと待っておられるのを確信する。それは保証と、困惑のうちにいるあなたを救おうとしておられる主のみ旨に対する確信をあなたに与えるのである。」（この日を神と共に 82）

3. み言葉のために時を用いる

- a. 主はわたしたちの個人的な聖書研究において、わたしたちがどのような経験を持つことを望んでおられますか (エレミヤ 15:16; 詩篇 34:8)。

「命のパンによって栄養を与えられた魂は、すべての機能に神の御霊によって命を与えられる。」(教会への証 6 卷 153)

「各々、祝福を自分自身の魂のものとしなければならない。さもなければその日は養われないのである。……あなたはごちそうの並べられた食卓を見て、他の人が食べることによって栄養を受けはしないことを知っている。わたしたちは身体的な栄養にあずからなければ飢えてしまう。そしてわたしたちが霊的なパンを食さなければ、霊的な強さと活力を失うのである。……

このみ言葉を食べて消化する人々、それを一つ一つの行動と品性の特質の一部とする人々は、神の力のうちに強く成長する。それは魂に不死の活力を与え、経験を完全なものとし、永遠に続く喜びをもたらすのである。」(信仰によってわたしは生きる 22)

- b. わたしたちは神の大いなるみわざについて他の人々に語ることができるために、まず何をしなければなりませんか (詩篇 119:27)。
- c. わたしたちが神のみ言葉を研究するのに時間を用いるとき、他にどのような祝福がわたしたちにもたらされますか (詩篇 17:4; 119:11, 93; ローマ 10:17)。

「聖霊は、青年に語りかけることを愛しておられて、神のことばの宝と美とを彼らが発見することを望んでおられるのである。大教師の語られた約束は、彼らの心をしっかりと捕え、彼らの魂を霊的力によって活気づける。人びとは、豊かに実を結び、神に関する知識をさらに深めていき、誘惑に対しても防壁を持つようになる。

真理のことばは、ますますその重大性を増し、これまで夢想さえしなかった意味深さをもったものとなる。みことばの美と富とは、人の心と品性を変えしめる力を持っている。天からの愛の光は、靈感となって人びとの心の上に注がれる。」(キリストの実物教訓 111)

「神のみ言葉の尊い真理の蓄えられた心は、サタン誘惑に対して、不純な思想と聖潔でない行為に対して防備される。」(今日のわたしの生涯 28)

4. 神に語る

- a. わたしたちの嘆願を神に捧げる際に、何を決して忘れるべきではありませんか（ピリピ 4:6）。

『あなたの神、主があなたに……賜ったすべての良い物を持って……喜び楽しむなければならない』（申命記 26:11）。神から与えられるこの世の恵みやあらゆる楽しさに対して、神に感謝と賛美をあらわそう。神は、天の永遠の家に住ませようと準備しておられる家族たちが皆、神の豊かな恵みの富に対して神を賛美するよう望んでおられる。」（家庭の教育 144）

「いつも、主を目の前にあおいで、主に感謝と賛美をささげているならば、わたしたちの信仰生活は常に新鮮さを保つことができる。わたしたちの祈りは、ちょうど友人と語るように、神との会話のかたちになり、神は、わたしたちに個人的に、神の神秘について語りかけてくださるのである。わたしたちは、しばしば、尊いイエスの臨在を身近に感じることもある。」（キリストの実物教訓 108, 109）

- b. 地上におられたとき、イエスの御父との交わりの模範は何でしたか（ルカ 6:12）。

「救い主は倦むことのない働き人であられた。このお方はご自分の働きを時間で測ることをされなかった。このお方の時間、このお方の心、このお方の力は人類の益のために労することに捧げられた。昼の間はずっと働きのために捧げられ、夜の間はずっと祈りに捧げられた。こうして狡猾な敵にそのあらゆる欺瞞的な働きにおいて対戦する備えができ、また人類を引き上げ、回復するご自分の働きをなすのに強化されるためであった。」（教会への証 9 巻 45）

- c. わたしたちはどれほどしばしば祈るべきですか（詩篇 5:3; 55:17; テサロニケ第一 5:17）。

「神に受け入れられる品性を養いたいと思うなら、信仰生活に正しい習慣が形成されなければならない。肉体の健康のためにこの世の食物が必要であるように、日々の祈りは、恩恵の中に成長するためにも、また霊的生命そのもののためにも必要である。たびたび祈って、自分の思いを神にまで高める習慣をつけなければならない。もし心がさまよっていたら、それと呼び戻さねばならない。忍耐強く努力することによって習慣がつけば、それはついには容易になる。」（青年への使命 108）

5. 神が聞かれる時

a. 神が祈りを聞き、答えて下さる条件は何ですか (イザヤ 57:15; マタイ 21:22)。

「祈りは、罪との戦いとクリスチャン品性の発達における成功の手段として、天が定めたものである。信仰の祈りにこたえて与えられる神の力は、願い求めるすべてのことを嘆願者の心の中に成就する。われわれは、罪のゆるしを、聖霊を、キリストのような性質を、主の働きをなすための知恵と力を、また主が約束された賜物を、求めることができる。そして、それらは『与えられる』と約束されているのである。」(患難から栄光へ下巻 267)

「自分でできないことを神にしてもらいなさい。イエスに何もかも話しなさい。イエスに心の秘密をすっかり打ち明けなさい。なぜならイエスの目は魂のいちばん奥まったところをもきわめ、あなたがたの思いを開いた本のように読まれるからである。あなたがたが魂の益となる必要なものを求めたなら、それをすでに受けたと信じなさい。そうすればそれを得るのである。」(アドベンチスト・ホーム 334)

b. 神はいつだけは、わたしたちの祈りをお聞きになりませんか (詩篇 66:18)。

「知っている罪を故意に犯すことによって、聖霊のあかしの声は沈黙させられ、魂は神からひきはなされる。……神は神をあがめる人にだけ栄誉をおあたえになる。」(青年への使命 108)

個人的な復習問題

1. 新しい心を持つとはどういう意味ですか。
2. イエスは、御父の恩寵を失ったことを感じて苦しんでおられる時でさえ、ご自分の御父への信頼をどのように表されましたか。
3. 神のみ言葉でわたしたちの思いを満たすとき、わたしたちのクリスチャン経験はどのようになりますか。
4. わたしたちの祈りは、どのように神との会話のようになることができますか。
5. どのような種類のことを、わたしたちは祈りのうちに神に告げることができますか。またこれはどのようにわたしたちの神との関係に影響を及ぼしますか。

黄金律を生きる

「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。」
(マタイ 7:12)

「黄金律は真の礼儀の原則であって、それが最も真実にあらわされたのは、イエスの生涯と品性のうちにおいてである。」(祝福の山 168)

推奨文献：教会への証 2 巻 133-136

日曜日

4 月 23 日

1. 黄金律を定義する

a. 何が「黄金律」ですか (マタイ 7:12)。

「ユダヤ人たちは、自分たちの受けるもののことばかり考えていた。彼らがあくせく求めたことは、権力や尊敬や奉仕など、当然自分たちが受けるべきものと彼らが考えたものを得ることであつた。しかし、キリストは、わたしたちが心を用いるべきことは、どれだけ自分が受けるかということではなく、どれだけ自分は与えることができるかということではなければならないとお教えになっている。わたしたちが他の人々にすべきことの標準は、他の人々がわたしたちにすべきであるとわたしたちが考えることなのである。

他の人々と交際する場合に、彼らの立場になってみなさい。彼らの感情、彼らの困難、彼らの失望、彼らの喜び、彼らの悲しみを味わってみなさい。あなた自身を彼らと同じものと考え、もしあなたが彼らの立場に立っていたならば、あなたが彼らに取り扱ってもらいたいと考えるように彼らにするのである。これが誠実の真の規則である。」(祝福の山 167, 168)

b. 黄金律の基礎は何ですか (マタイ 22:37-39)。

「あなたは自分の生活において、心を尽くして神を愛し、自分自身のように隣人を愛するというのがどういう意味かを明らかに示すべきである。知恵と愛の神に結びつくことによって、あなたは自分がこの世のために生きているのではなく、一時的ではない永遠のもののために生きているという事実を世に表すようになる。」(彼を知るために 90)

2. より恵まれていない人々を心にかける

- a. 教訓と模範によって、福音のメッセージを伝える特権を、わたしたちはだれに対して負っていますか。(ローマ 1:14, 15)。

「神の多くの恵みの管理者とされた者はすべて、無知と暗黒のうちにある魂に、自分がその人たちの立場にあったならば、自分にしてもらいたいと願うことを、するように召されているのである。……あなたは、地上において暗やみに閉ざされてまったく墮落した人よりも、神の愛を知り、神の恵みの豊かな賜物を受けているために、これらの賜物をその人に分け与えるべき負い目があるのである。」(祝福の山 169)

- b. この生涯において、わたしたちは他にだれのために特別な心遣いを持つべきですか(ヤコブ 1:27; ヨブ 29:15, 16)。

「あなたが何かを人以上に持っていれば、その程度に应じて、あなたはあなたより恵まれないすべての人に対して負い目があるのである。もし、わたしたちが富、または何か生活をうるおすものでも持っているならば、わたしたちは、苦しんでいる病人、寡婦、孤児のめんどろを見ろというきわめて厳粛な義務が負わせられている。わたしたちは、自分の状態と彼らの状態とが入れ替わっていたならば、自分がその人人にしてもらいたいと思うちょうどその通りのことを彼らにしなければならないのである。」(祝福の山 169)

「キリストに属する貧しい人々への愛と奉仕によって、キリストに対するわたしたちの愛の真実性を証明するのである。」(ミニストリー・オブ・ヒーリング 182)

- c. イエスが地上に生きておられたとき、なぜ多くの人々はこのお方を受け入れなかったのですか(イザヤ 53:2)。他の人々を助けようとするとき、この聖書の記録から、何を学ぶことができますか。

「自分自身が人気者になろうとしたり、高く評価されるような人をほめそやそうとする代わりに、人気がなく、だれも特別な親切を示さないかわいそうな子供がいなかを見なさい。そしてその子をあなたの無私の愛情の対象としなさい。特に魅力的な人々は友にこと欠くことはない。その一方、見かけがそれほど好ましくなく、臆病で親しくなにくい人々が、最高の品性の特質を持っているかもしれない。そして彼らはキリストの血で買われた者なのである。」(わたしたちの高い召し 259)

3. 律法の諸原則を満たす

a. イエスはどのように律法の諸原則を生きられましたか（使徒行伝 10:38）。

「ああ、なんと柔らかな美しい光がわたしたちの救い主の日々の生活のうちに輝き出たことであろう。なんとにかくわしさがそのみ前に漂っていたことであろう。この同じ精神がその子らのうちにあらわされるであろう。キリストがともにお住みになる者は、聖なるふんい気に包まれるであろう。純潔という彼らの白い衣は、主の園のかぐわしいかおりを放つであろう。彼らの顔は主の光を反映し、つまずき疲れ切った足の進む道を照らすであろう。」（祝福の山 168）

b. 神と自分の同胞を愛して、わたしたちがキリストに従うためには、何が必要ですか（ルカ 9:23; ガラテヤ 2:20）。

「人は力と思いと精神をもって神を最高に愛し、隣人を自分自身のように愛することが要求されている。これは人が自分自身を否定しない限り、なすことのできるものではない。自己を否定するとは、感情が支配しようとするときに精神を治めることを意味する。非難し、あら捜しの言葉を語ろうとする誘惑に抵抗することであり、鈍い子供やふるまいが嘆かわしくいらだたい子供に忍耐を働かせることであり、他の人々がしなくても義務の地位に立つことであり、どこでもいつでも義務が要求するとき、賞賛を得るためでなく、方策のためでもなく、主人なるお方のために責任を引き受けることである。このお方はご自分に従う一人びとりにゆるぎない忠誠をもってなすべき働きを与えてこられた。自己を否定するとは、傾向が自分自身に仕え喜ばせようとするときに、善をなすことを意味する。それは他の人々の益のために、自分たちの努力が評価されないように見えても、忍耐強く、快活に働くことを意味する。」（天国で 223）

c. イエスはどのようにわたしたちがご自分の模範に従うことができるようにされましたか（テトス 2:14）。

「わたしたちが神に受け入れられるのは、ただこのお方の愛する御子を通してのみ確実であり、よい行いはこのお方の罪を許す愛の働きの結果にすぎない。それらは彼らの功績ではなく、わたしたちが魂の救いの一部として主張できるような良いわざは何一つわたしたちに帰するものではない。救いは信徒に対する神からの無償の賜物であり、ただキリストのために、彼に与えられたものである。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 5 巻 1122）

4. 愛する魅力のない者を愛する

- a. わたしたちはどのように、善について世の標準以上を超えることができますか（マタイ 5:44-47）。

「このお方〔キリスト〕は、わたしたちが、自分たちを圧迫し、害をなす人々を愛するように望んでおられる。わたしたちは言葉や行動に彼らが表す精神を表してはならない。そうではなく、彼らに善をなすすべての機会を活用すべきである。」（上を仰いで 220）

『敵を愛し』なさいとの戒めを山でお与えになったイエスは、自らこの原則を実行し、『悪をもって悪に報いず、悪口をもって悪口に報いず、かえって、祝福をもって報い』られた（マタイ 5:44、ペテロ第一 3:9）。（各時代の希望上巻 334）

- b. わたしたちはどのように実際的な方法において、キリストの愛の標準を生きることができますか（箴言 20:22; 24:29, 17; 25:21, 22）。

「救い主が天の家郷を後にされたのは、敵にいのちのパンを与えるためであった。揺りかごから墓場まで、中傷と迫害の連続であったが、イエスからはただ、寛大な愛があらわされるばかりであった。預言者イザヤを通してイエスはこう言っておられる、『わたしを打つ者に、わたしの背をまかせ、わたしのひげを抜く者に、わたしのほおをまかせ、恥とつばきとを避けるために、顔をかくさなかった』（イザヤ書 50:6）。『彼はしえたげられ、苦しめられたけれども、口を開かなかった。ほふり場にひかれて行く小羊のように、また毛を切る者の前に黙っている羊のように、口を開かなかった』（イザヤ書 53:7）。そしてカルバリーの十字架からは、幾世紀後の今日まで、ご自分を十字架にかけの者たちのための祈りと、死にゆく強盗に与えられた望みのことばとが伝わってくる。』（祝福の山 87,88）

- c. 他の人々に与える人には何が起こりますか（マタイ 7:2（下句）；ルカ 6:38）。

「自分が与えるものを自分が再び受けるのである。わたしたちが他の人に与えるこの世の祝福は、同種のもので返されるもので、事実しばしば返されているのである。わたしたちが与えるものは、必要な時に、よく、四倍もの価値あるものとなってもどってくる。しかし、そればかりでなく、すべてわたしたちが人に与えたものはこの世においても、神の愛が豊かにそそぎ込まれることにより報われる。この神の愛こそ天のあらゆる栄光と宝の総計なのである。」（同上 169, 170）

5. 無我の奉仕

- a. 無我の奉仕におけるイエスの模範に従うために、どの態度が必要ですか（ピリピ 2:4）。

「キリストの愛を心に持つものは、自分の利益を求めない愛をもつようになる。」（人類のあけぼの上巻 132）

「キリストの屈辱が認められ、悟られることをパウロは深く熱望した。天の王によって払われた驚くべき犠牲を考えるように人間が導かれることができれば、その人の心からは利己心が消滅すると信じた。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 488）

「キリストを自分の救い主として受け入れた者はみな、神に仕える特権を切望する。天が自分一個人のためにしてくださったことを考え、その心は無限の愛と、神を崇拜する感謝の念に動かされる。こういう人は、自分の力を神の働きにささげ、心から感謝の念を表わそうとし、キリストとキリストがあがなわれた者に愛をささげようと切望する。そして、難事、苦労、犠牲を喜んで受けるのである。」（同上 489）

- b. わたしたちは他に教会として共に働くとき、何を覚えるべきですか（ローマ 12:16, 17; コリント第一 1:10）。

「神の民の力は、神のひとり子を通して神と結合することと、互いに結合することのうちにある。一本の木に全く同じ葉が二枚とないように、すべての思いが同じ方向に走るわけではない。しかし、それでありながら、多様性の中に一致が存在することができる。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1 巻 6 巻 1083）

個人的な復習問題

1. 黄金律に従うことは何を意味しますか。
2. 黄金律は、福音のメッセージを伝えることにどのように適用されますか。
3. わたしが自分自身を否定することのできるいくつかの実際的な方法は何ですか。
4. イエスはご自分を虐待する人々に向かって、どのようにご自分の愛を表されましたか。
5. イエスがわたしのために払われた大いなる犠牲を考えると、このお方に対する愛をどのように示すことができますか。

第一安息日献金 世界のミッションのために

世界中の親愛なる兄弟姉妹がたへ

わたしたちは地球の歴史の終末時代に生存しており、わたしたちの主は長い間、わたしたちを家へつれて帰りたいと切望し、待ってられました。預言的な出来事がわたしたちの眼前で明らかにされ、イエスの再臨が近いこと、まさに門口に来ていることを告げています。残念なことに、福音のメッセージはまだ地の果てにまで届いて



おらず、すべての被造物が真理を聞く機会を得ていません。「人はまもなく大きな決心を強いられるようになる。であるから、彼らは自分たちの立場を知的に正しい側におくことができるように、聖書の真理を聴いて理解する機会がなければならない」(伝道 25)。

キリストの体の肢体として、このお方のご品性を表し、わたしたちの時間、力、そして資金をこの特別な働きに委ねることによって、全世界を通じて福音を広めることに参加することは、わたしたちの特権です。

わたしたちの教会員や友人たちの祈りと資金的な寄与により、新しいミッションが多くの地方で設立されつつあります。これらの新しいミッションはなお、彼らがしっかりと確立し、自援できるようになるまで、わたしたちの援助を必要としています。またその一方、新しい伝道地が開かれつつあります。毎年、祈祷週の時に、地球の多くの地域へメッセージを広めるのに必要な資金を満たすために特別献金を集めています。

「この時代、すべての都市に、そして地上の遠隔地に現代の真理の代表者がいるべきである。全地は神の真理の栄光で明るくされるべきである。光があらゆる地とあらゆる民を照らすべきである。そして輝き出るのは、光を受けた人々からであるべきである」(同上 407)。

「まだほとんど入っていない畑に伝道者が必要とされている。新しい伝道地が絶えず開かれている。真理は様々な言葉に翻訳されなければならない。こうしてすべての国民が純粋で命を与える感化を享受することができるためである」(同上 409)。

この安息日、みなさんに自分の資金から惜しみなく捧げることによって、伝道者やその家族の努力と自分の努力を一致させて下さるよう、熱烈にお願いいたします。この方法によって、わたしたちが共に神の栄光で地を明るくし、イエスの来臨を早めることができます。

世界総会伝道支部の皆さんの兄弟より

あなたの友を選ぶ

「ふたりの者がもし約束しなかったなら、一緒に歩くだろうか。」(アモス 3:3)

「わたしはすべての人に、老いも若きにも、警告する。あなたが築く友情、どのような連れ合いを選ぶかに注意なさい。今は純金だと思っていたものが純度の低い金属であったことがわかるようなことにならないよう、注意なさい。」(サインズ・オブ・タイムズ 1896 年 11 月 26 日)

推奨文献：アドベンチスト・ホーム 521 ～ 532

日曜日

4月30日

1. 一人の真の友

- a. 良い友が持っているべきいくつかの資質は何ですか(箴言 17:17; 18:24 (上句))。

「非常な困難の中に人生の戦いを戦っている人は、ちょっとした愛の行為によって力づけられ、励まされる。こういう人にとっては、真の友人からの力強い助けの手は金や銀よりも尊く、親切な言葉は天使の微笑のようにうれしいものである。」(ミニストリー・オブ・ヒーリング 130)

「だれにでも事態が悪くなる時が訪れる。悲しみと失望がどの魂にも押し寄せる。そのとき、個人的な存在、慰め力を与えてくれる友は、滅ぼそうとする敵の矢を跳ね返すのである。クリスチャンの友は十分いるべきであるがその半分もない。誘惑の時、危機において、真の友の価値はいかばかりであろう!……勧告する真の友、引き付けるような希望にあふれた心や魂を引き上げる静かな信仰を与える真の友—ああ、そのような助けは尊い真珠よりもさらに価値がある。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 3 巻 1163)

「あなたにお世辞を言うほど愚かな人はだれであっても、あなたの真の友となることはできない。あなたの真の友は、あなたを戒め、嘆願し、警告し、そしてあなたの欠点を譴責するのである。」(教会への証 3 巻 226)

- b. 真の友は、どのように献身的ですか(ヨハネ 15:13; ヨブ 6:14 (上句))。

2. 賢明に選択する

- a. 友を選ぶ際に、考慮すべきいくつかの重要な事柄は何ですか（ローマ 12:9; コリント第一 15:33）。

「クリスチャンが、道徳的に信頼できない人々と交わることは悪いことである。知性や道徳を強めるのに少しも寄与せず、時間をとる親密な日ごとの交わりは危険である。もし人を取り囲む道徳的な雰囲気が純潔でなく、聖化されておらず、かえって墮落に汚されているならば、その雰囲気を呼吸している人々は、ほとんど気づかないうちにそれが知性と心を毒し、墮落させるために作用していることに気がつくようになる。思いが自然に低い水準に行く人々と通じるのは危険である。徐々に、気づかないうちに、自然に良心的で純潔を愛する人々は、絶えず接触するようになった人々と同じ水準になり、その愚かさと道徳的な不毛にあずかり、同調するようになる。……

虚しく、不注意で墮落した思いの人々と交わることほど、真剣な印象や良い願望を妨げ、吹き払うのに効果的なものはない。……

真理の純潔さを愛する人々、道徳が汚されておらず、その習慣が純潔な人との交わりを……選びなさい。」（教会への証 3 巻 125, 126）

- b. ダビデとヨナタンの友情はどのように述べられていますか（サムエル上 18:1）。
- c. 良い友に求めるべき他のいくつかの資質は何ですか（箴言 11:13; ルカ 7:13; ガラテヤ 5:22, 23）。

「柔和としとやかな霊という飾りを身につけなさい。これは神の御目に非常に尊いものである。愛、喜び、平和、寛容、善意の恵みを大切にしましなさい。これがクリスチャンの木の實である。川の水のほとりに植えられ、それはいつも季節に従って実を結ぶ。

もしわたしたちが魂のうちにキリストの愛を持っているならば、わたしたちは自然の結果として他のすべての恵み—喜び、平和、寛容、慈愛、善意、信仰、柔和、節制—を持つようになる。……

キリストの愛が心の中で大切にされると、……このお方のご臨在が感じられるようになる。」（今日のわたしの生涯 50）

3. 他の人々の過ちから学ぶ

- a. 聖書の中に与えられた歴史的な記述について、何を知ることができますか（コリント第一 10:11, 12）。

「もしヘブル人の悪が聖なる記録から除かれて、ただ彼らの徳だけが列挙されていたならば、彼らの歴史は今教えている教訓を教えることができないことであろう。」（教会への証 4 巻 11）

- b. サムソンは自分の最も近い友人をどのように選びましたか。その結果は何でしたか（士師記 14:3）。

「サムソンが忠実に、彼の親と同じように神の命令に従ったならば、彼はもっと気高く、幸福な一生を送ったことであろう。しかし、偶像教徒との交わりが、彼を腐敗させた。ゾラの町は、ペリシテ人の国に近かったので、サムソンは、彼らと交わって仲よくなった。こうして、彼が若いときに結んだ親しい交わりが、彼の全生涯を暗くした。ペリシテ人の町テムナに住む若い婦人が、サムソンの心を捕えたので、サムソンは彼女を自分の妻にしようと決心した。神を敬う両親は、なんとかして彼の心を変えさせようと努力したが、彼は、『彼女はわたしの心にかないますから』と答えるだけであった（士師記 14:3）。両親は、ついに折れて、彼の希望をかなえ、結婚を許した。

彼がちょうど成人し、神の任命を実行しなければならないとき、他のどんなときよりも神に忠誠を尽くすべきときに、サムソンは、イスラエルの敵と結合してしまった。」（人類のあけぼの下巻 211, 212）

- c. ロトが住むところを選んだ際、何が決定的な要素でしたか。またどの事実を無視しましたか（創世記 13:10, 12, 13）。ソドムの交わりが彼の家族にどのような影響を及ぼしましたか（ペテロ第二 2:7, 8; 創世記 19:14）。

「もし、〔ロト〕が、初期に、アブラハムから忠実に教え込まれていなかったならば、彼の妻の感化と罪惡の町の交友とによって、神から離れていたことであろう。ロトの結婚とソドムに住宅を選んだことは、その後、数世代にわたってこの世界に起こった一連の不幸なできごとの出発点となった。」（同上上巻 185, 186）

4. 安全でない友人関係

a. 神は世との友人関係をどのようにご覧になりますか (ヤコブ 4:4)。

「世俗的な人と、神に忠実に仕える人との間には、固定された深淵がある。最も重大な主題―神と真理と永遠―について、彼らの思想、同情、感情は調和していない。一方は神の倉のための麦として、もう一方は破滅の火のための毒麦として熟している。いかにして、彼らの間に、目的や行動の一致があるであろうか？」(伝道 620)

b. 神は世俗的な友人関係について、さらにどのような勧告を与えておられますか (コリント第二 6:14, 17)。

「あなたは、世俗と交わり、その精神にあずかり、彼らの例に倣いながら、同時に神の子であることはできない。宇宙の創造主はあなたに愛情深い御父として語っておられる。もしあなたがあなたの愛情において世から分離し、その汚れに染まらずにいて、世にある欲のために滅びることをまぬかれるならば、神はあなたの父となられ、あなたをご自分の家族の養子として迎え入れて下さり、あなたはこのお方の相続人となる。世の代わりに、このお方はあなたに、従順の生涯のために、全天下にある御国を与えて下さる。このお方はあなたに永遠の重い栄光と永遠に持続する命を与えてくださるのである。」(教会への証 2 巻 44)

c. これらの種類の友人関係は、わたしたちの心の状態について、何を示していますか。神はこれをどのようにご覧になりますか (マタイ 10:37, 38)。

「神はご自分に無条件で心と愛情を明け渡すことを求めておられる。もしあなたが友人、兄弟や姉妹、父や母、家屋や土地を、わたしよりも愛するならば、あなたはわたしにふさわしくない、とキリストは言われる。」(同上 3 巻 45)

「キリストに従う者の生活には、このお方のご生涯に見られたのと同じ献身、すなわちあらゆる社会的な要求や地上の愛情を神の働きに従属させるのが見られなければならないことを覚えていなさい。神のご要求が、つねに最上とされなければならない。」(管理者への勧告 53)

5. 親密な友人関係

- a. わたしたちの最も近い友人を選ぶ際に、特に結婚へつながる場合、決して何を忘れてはなりませんか（マタイ 22:37; ルカ 14:33）。

「私たち及び私たちの子供に影響を与える事から— 私たちの交際はどんなに限られたものであっても、私たちになんらかの影響を与えるものである。私たちがその影響を受ける程度は、親密の度合、交際の長さ及び私たちが交際する人に対してもつ愛と尊敬の程度によって決定される。」（アドベンチスト・ホーム 525）

「友だちが互いに良きにつけ悪きにつけて、及ぼしあう感化の程度は友情の強さに比例する。……

神をおそれる人々の仲間になることを選択するならば、その感化によって真理と義務と神聖さに導かれるであろう。」（同上 521, 523）

- b. なぜわたしたちは自分たちの信仰を共有していない人々や改心していない人々から親密な友を選んではいらないのですか（アモス 3:3）。

「ソロモンの妻たちは、彼の心を神から偶像礼拝へと転じさせた。同様に、軽率な連れ合い、すなわち原則の深さを持たない仲間は、かつては高尚で真実であった人々の心を、虚無と墮落的な娯楽、まぎれもない悪徳へと転じさせるのである。」（争闘と勇氣 192）

個人的な復習問題

1. 真の友があなたのためになしてくれるいくつかのことは何ですか。
2. 不道德な水準で考える思いをもった人々と親密に交わることは、なぜ危険なのですか。
3. わたしたちはサムソンの過ちから、自分の友を選ぶことにおいて、何を学ぶことができますか。
4. 神に無条件に心と愛情を明け渡すことには何が含まれていますか。
5. わたしたちがどれほど自分の交わりの感化力に影響されるかは、どの要素によって決まりますか。

めとることと嫁ぐこと

「すなわち、洪水の出る前、ノアが箱舟にはいる日まで、人々は食ひ、飲み、めとり、とつぎなどしていた。」(マタイ 24:38)

「永遠の生命への道は、けわしくきびしいものである。あなた方の前進を妨げるような重荷を加えてはならない。……」(青年への使命 443)

推奨文献： アドベンチスト・ホーム 99 ～ 123

日曜日

5月7日

1. ノアの時代

a. 神の民は、ノアの時代に、どのような罪深い選択をしましたか(創世記 6:1, 2)。

「ノアの時代の結婚における大きな罪悪は、神の子らが人の娘たちと縁組したことでした。神をみとめ、あがめると公言している人々が心の墮落した人々と交わった。そうして彼らは無差別にだれとでも好むままに結婚した。」(青年への使命 458)

b. キリストの再臨の直前は、どのようになりますか(マタイ 24:37, 38)。

「今日でも深い宗教経験を持たず、ノアの時代と全く同じことをしている人がたくさんいる。彼らは、祈りのうちに注意深く考慮することなしに結婚にはいる。あたかも商売の取り引きでもするかのように深い考えもなく、神聖な誓約をする。真の愛がその縁組の動機となっていない。」(同上)

「食ひ、飲み、めとり、とつぎすることそれ自体には罪はない。……しかしノアの時代の人々は神のみこころをうかがい、神の指導と忠告を求めずに結婚した。」(アドベンチスト・ホーム 124)

2. イサクの模範に従う

- a. アブラハムは、イサクのために妻を選ぶにあたり、自分の忠実な僕に、どのような重要な要求をしましたか（創世記 24:3; コリント第二 6:14）。

「神の民は、禁じられているところに足を踏み入れるような危険を冒してはならない。信者と未信者の結婚は神に禁じられている。しかし改心していない心が自分の欲望に従うことが多く、神がお認めにならない結婚が結ばれている。……

真理を公言するものが、未信者と結婚することによって、神のみこころをふみつける。彼らは神の寵愛を失い、自分自身悔い改めることを困難にしている。未信者は道徳的なりっぱな品性の持ち主であるかもしれないが、彼または彼女が、神の要求に応えず、これほどの偉大な救いを軽んじたという一事だけでも、その結婚を実現させてはならぬ十分な理由なのである。その未信者の品性は、イエスが『あなたに足りないことが一つある』と言われたあの若い青年と同じであるかもしれない。」（アドベンチスト・ホーム 59, 60）

- b. 選択をするために、僕はだれを信頼しましたか。またどのテストが与えられましたか（創世記 24:12-14）。

「神は必ず天使を送られるというアブラハムの言葉を思い起こして、彼は、熱心に明確な指導が与えられることを祈った。彼は、主人の家庭でいつも親切と手厚いもてなしが行なわれているのをよく知っていたので、ここで、親切な行為が神のお選びになった娘のしるしでありますようにと祈った。

その祈りが終わるか終わらないうちに、こたえが与えられた。井戸のまわりに集まった女たちのなかで、礼儀正しいひとりの娘が彼の注意をひいた。彼女が井戸からもどって来たときに、旅人は、彼女に近づいて、肩にのせた水がめの水を少しくださいと頼んだ。彼女は快くその願いをきき入れ、らくだにも水を飲ませようと申し出た。これは、そのころ、身分の高い人の娘でも、父の家畜や群れのために行なう仕事であった。こうして、願ったとおりのしるしが与えられた。娘は『非常に美し』かった。そして、彼女の積極的親切心は、優しい心と活発で活動的性格をあらわしていた。」（人類のあけぼの上巻 183）

- c. リベカの願いは、どのように尊重されましたか（創世記 24:58）。

3. 結婚における神のご目的

- a. なぜ、神は「ふさわしい助け手」を選ばれたのですか。また良い妻はどのように述べられていますか（創世記 2:18; 箴言 18:22; 19:14）。

「神ご自身がアダムに伴侶をお与えになった。このお方は『ふさわしい助け手』―彼に見合う助け手―彼の伴侶となるにふさわしく、愛と同情において彼と一つになれる者を備えられた。エバはアダムのわきからとられたあばら骨から創造された。これは彼女が頭として彼を支配するのではなく、また劣る者として彼の足の下に踏みつけられるものでもなく、等しいものとして彼の傍らに立ち、彼に愛され、保護されるべきことを意味していた。彼の一部、すなわち骨の骨、肉の肉であり、彼女は彼の第二の自分であった。この関係のあいだに存在すべき緊密な結合と愛情ぶかい愛着を示すのであった。『なぜなら、自分自身を憎んだ者は、いまだかつて、ひとりもない。かえって、……おのれを育て養う』（エペソ 5:29）。」（信仰によってわたしは生きる 251）

「神は男から女を造られた。それは女が男の伴侶となり助け手となり、彼と一体となって彼を慰め、励まし、祝福し、その代わりに男が女の力強い助け手となるためであった。きよい目的、すなわち夫は女性の心の純粋な愛情を得るため、妻は夫の品性をやわらげ向上させて完全なものとするために結婚関係にはいる者は、彼らに対する神の目的を成就している。キリストはこの制度を破壊するためでなく、本来の高さときよらかさに回復するために来られた。キリストは神の道徳的なみかたちを人間の中に回復するために来られ、そして結婚関係を是認することから彼の働きを開始された。」（アドベンチスト・ホーム 99）

- b. 神は罪の後、家族のうちに、どの備えをなさいましたか（創世記 3:16（下句）；コロサイ 3:18, 19; エペソ 5:22, 25）。

「創造のとき、神はエバをアダムと同等の者にお造りになったのであった。彼らが神に服従していたなら―神のたいなる愛の律法に一致していたなら、彼らはいつまでも互いに調和を保つことができたはずであった。だが罪が不一致をもたらしたため、いまや彼らは一方が相手に従う以外一致を保ち、調和を維持することができなくなった。最初に罪を犯したのはエバであった。彼女は天の指示にそむいて夫のそばを離れ、誘惑に陥ってしまった。アダムが罪を犯したのは彼女の誘惑によってであった。このため彼女はいま夫の支配の下におかれたのである。墮落した人間が神の律法に定められている諸原則を忘れずにいたなら、この宣告は罪の結果下されたものとはいえ、彼らにとって祝福となるはずであった。だがこうして与えられた支配権を男が悪用したために、女の運命は大へん苦しいものとされ……ることが非常に多かった。」（同上 117）

4. 神聖な型に従う

- a. 夫と妻は、どのようにイエスが御父に述べられた模範に倣うべきですか (ヨハネ 5:20 (上句) ; 8:29)。

「お互に愛を強制することなく、かえって愛を与えるべきである。自分の中にある最高の品性を養育し、互に相手の長所をすみやかに認めるようにしなさい。真価を認められているという意識は驚くほどの刺激となり、満足感を与える。同情と尊敬の念は卓越しようと努力する気持を強め、愛は一段と高い標準に達しようとする気持を鼓舞しながら、愛自体も大きくなっていく。

夫も妻も自分の個性を相手の中に没入させてはならない。各人は神と個人的関係にある。個人が『何が正しく』『何がまちがい』であるか、『自分の生涯の目的をどうしたら最もよく果しうるか』を神に尋ねるべきである。あなたのためにご自分の生命を捨てられたキリストにまず豊かな愛情をささげるべきで、すべてのことにおいてキリストを最初とし最後とし、最高としなさい。キリストに対する愛が強くなるにつれ、相互の愛が清められ強くなる。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 333, 334)

- b. イエスの御父との関係において、他にどのような重要な特質が示されましたか (ヨハネ 10:30; エペソ 4:3)。

「相互の寛容と愛がなければ、地上のどんな力もあなたとあなたの夫をクリスチャンの一致という絆で結び付けておくことはできない。結婚関係におけるあなたがたの交わりは、親密で愛情深く、きよらかで高貴で、あなたがたの生活に霊的力を吹き込むものでなければならない。それは、あなたがたが神のみことばが要求しているとおりのもとなるためである。主の望んでおられるような状態に達したとき、あなたがたは地上に天国を見だし、生活の中に神がおられることを発見するであろう。」(7ドベンチスト・ホーム 114)

「家庭の平和と一致をそこなうものはどんなものでもきびしく押え、愛と親切をはぐくまなければならない。やさしさ、忍耐、愛の精神を表わす人は、同様の精神が自分に示されることを知るであろう。神のみたまが支配しているところでは、結婚関係が不適合であるという話はおきない。栄光の希望であられるキリストがほんとうに心の中に形づくられているなら、家庭には一致と愛がある。妻の心に住むキリストは、夫の心に住むキリストと協調する。夫も妻も、キリストが自分を愛する者のために備えに行かれた家に行くために心を合わせて努力する。」(同上 123)

5. 争いに対処する

- a. 夫と妻のあいだで、特に困難がある場合、どのような精神が表されるべきですか (ヤコブ 4:6, 7, 10)。

「夫と妻が彼らの幾つかの義務について、たとい正しい公平な解決を得ようと努力しても、心を神にゆだねないならば、家庭の問題を調整することはむずかしい。」(アドベンチスト・ホーム 121)

「困難や困惑や失望に遭遇しても、その結婚が誤りであったとか、失望であったとかいような気持ちを夫も妻も抱いてはならない。互いに相手に対してできるだけ最善のものとなるように決心なさい。最初のころの心づくしを継続し、人生の戦いを戦ううえにあらゆる面で互いに励まし合い、相互の幸福を増進するように研究なさい。相互の愛と忍耐が必要である。そうするならば結婚は愛の終局ではなく、出発点そのものようになる。真の友情のあたたかさ、心と心を結ぶ愛は天国における喜びをこの世において味わわせるものである。

どの人も忍耐することによって忍耐力を養わなければならない。親切で忍耐強くあることによってほんとうの愛をいつも心にあたたかく保つことができる。またそうあることによって天に是認されるよい特質がのびされる。」(アドベンチスト・ホーム 107)

- b. わたしたちが互いに、特にうまくいかないときに持つことを、キリストが望んでおられる愛を述べなさい (ヨハネ 15:12; コリント第一 13:4-7)。

「真の愛情は多くの過失をみのがす。愛は過失をみつけない。」(同上 42)

個人的な復習問題

1. ノアの時代のほとんどの結婚は、なぜ罪深いものとみなされたのですか。
2. なぜ立派な道德観を持っていながら、ただ信徒ではないという人と結婚することが間違っているのですか。
3. 結婚に対する神の聖なるご目的は何ですか。
4. わたしたちはだれかがもっと高尚な生涯を送るために、どのように励ますことができますか。
5. 家族の困難があっても働くために、何が必要ですか。

クリスチャン家族

「子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。……父たる者よ。子供をおこらせないで、主の薫陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。」(エペソ 6:1, 4)

「家庭のキリスト教の最上の試金石は、その感化力の結果生じる品性の種類である。親の一番最初の働きは、自分たちの心のうちに神の祝福を確保し、それからその祝福を自分たちの家庭に持ち込むことである。」(バイブル・エコー 1894 年 10 月 15 日)

推奨文献： アドベンチスト・ホーム 194 ～ 234

日曜日

5月14日

1. わたしたちの第一の焦点

a. わたしたちの家庭のために、どの目的をもって働くべきですか (イザヤ 8:18)。

「ご両親がた、神はあなたがたが自分の家族を天における家族の見本とするように望んでおられる。自分の子供たちを守りなさい。彼らに親切で優しくありなさい。……よく秩序だてられ、よく規律のとれた家族は、世におけるすべての説教よりもキリスト教の効果を示す大きな力である。父親と母親は、自分の子供たちがどれほど自分を模倣するかを自覚するならば、すべての言葉やしぐさを注意して見張ることであろう。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1118)

b. わたしたちの子供を訓練するにあたり、最も重要なことは何ですか (エペソ 6:4)。

「大多数の親は、子供を物心のつくころからキリストを知りキリストを愛するように教育し訓練することをしないで、神から与えられた仕事をおろそかにした。親は骨身を惜しまぬ努力によって、率直な理解の早い頭脳を見守り、主の薫陶といましめによって子供たちを教育するという神に定められた絶対的な義務に対して、家庭のすべてのことを二義的なものとしなければならない。」(アドベンチスト・ホーム 196)

2. 家庭の宗教

- a. 親は、どのような種類の態度を、自分の子供たちに伝えなければなりませんか（エペソ 4:2, 32）。

「あなたが家族関係の中に入るとき、慰め励ます親切で優しい言葉を話すよう気をつけなさい。自分以外だれも理解することのできない弱点に苦闘している家族の一員を助けるために非常に多くのことをなす親切な小さな行為を忘れないようにしなさい。

あくまでも自分自身の方法をとること、さして重要でない些細なことで譲りたくないこと、家庭にこのような苦さと憤りを持ち込むことは、割に合わない。人生はあまりに短く、悲しみに満ちている。わたしたちは痛みを感じ、誘惑されている心を傷つけるために割く時間はない。

一人一人が親切であって、他の人のことを考えるようにしよう。決して日没まで怒ったままにしてはならない。魂を痛め傷つける、些細であるが気難しい問題を正さないで眠りについてはならない。」（今日のわたしの生涯 225）

- b. 愛は家庭において、どのように示されるべきですか（ローマ 12:9, 10）。

「家族の者たちが互いに愛情を表現しない家庭が多い。感傷は不必要であるが、清潔できよらかな、そして品位のある態度で愛情とやさしさを表わす必要がある。多くの人はぎびしい心だけを養って、ことばや行動に品性の悪い面を表わす。どんな時にも夫と妻や、親と子や、兄弟姉妹の間にやさしい愛情を育てなければならない。軽率なことばはすべて押えなければならない。互いに愛情のない表情をすることさえあつてはならない。快活であること、やさしく話すことは、家族ひとりびとりの義務である。

やさしさや愛情深さや愛を育てて、ちょっとした親切の中に、ことばの中に、思いやり深い配慮の中にそれを表わさなければならない。」（アドベンチスト・ホーム 214）

「イエスがご自分の尊い生涯の中で表してこられたやさしさと憐れみがわたしたちの同胞仲間を扱う方法の模範となるようにしよう。……多くの人々は人生の大きな闘いの中で弱り、失望している。彼らにとって、親切な元気づけ勇気を与える一言が勝利するための力を与えるのである。……わたしたちは自分たちの優しい親切な言葉、重荷を軽くするためのキリストのような努力がどれほど遠くにまで届くか告げることとはできない。誤っている人は、他の方法ではできないときに柔和と親切と優しい愛のうちに回復されることができるのである。」（今日のわたしの生涯 235）

3. 家庭における誉と尊敬

- a. 第5条は何ですか。そしてこの戒めの重要性は何ですか（出エジプト記 20:12; エペソ 6:2）。子供たちは、この戒めに従うことを、どのようにもっともよく教わることが出来ますか。

「両親は他人が受けることのできないような愛と尊敬を受ける資格がある。彼らの監督のもとに魂をおき、その魂に対する責任を負わせたもうた神ご自身が、子供が幼い間は親が彼らに対して神の立場に立たねばならぬことを定めたもうた。親の正当な権威を拒む者は、神の権威を拒んでいるのである。第五のいましめは子供たちに親を尊び、彼らに従順に服従することを要求しているだけでなく、親に愛をささげ、やさしくし、彼らの心配を減じ、彼らの評判を守り、老年にはいったときには彼らに助力と慰めを与えることをも要求している。

〔子どもたち〕は地上の親を尊敬しなければ、彼らの創造主をもうやまい愛することをしないであろう。」（アドベンチスト・ホーム 327）

「子供に父母を尊敬させる最良の方法は、父親が母親にやさしい心づかいを示し、母親が父親に尊敬と敬意を示すのを見る機会を与えることである。子供は父親と母親の間にある愛情を見ることによって、おきての第五条に従い、『子たる者よ、主にあつて両親に従いなさい。これは正しいことである』という訓戒に服従するように導かれるのである。」（同上 214）

- b. 他にわたしたちはだれを敬うべきですか（レビ記 19:32; 箴言 16:31）。

「神を代表する人々―神の代わりに語り行なうべく召されている牧師や教師や親に対して尊敬を示さなければならない。彼らに対する尊敬を通して、神のみ名はあがめられるのである。

神はまた特に年老いた人々に対してやさしい尊敬を示すようにお命じになる。『しらがは栄えの冠である、正しく生きることによってそれが得られる』（箴言 16:31）と神は仰せになっている。それは戦いをたたかい、勝利を勝ち得、重荷に耐え、誘惑に抵抗したことを物語っている。それは休息に近づく疲れた足、まもなくあく座席を物語っている。このことを子供たちに考えさせるとき、彼らは礼儀と尊敬をもって年老いた人々の道を和らげ…彼らの若い人生には恵みと美がもたらされるであろう。」（教育 288, 289）

4. 家族という会社

すべての真のクリスチャン家族によって表される顕著な特徴は何ですか（コリント第一 14:40）。すべての人は家庭において秩序を維持するためにどのように協力することができますか。

「家族のすべての一員は、家族の快適さと秩序と規則性を加えるために自分たちの役割を果たすべき責任が個々に負わされていることを自覚すべきである。一人が他の人に反対して働くべきではない。すべての人が互いに励ます良い働きに一致して携わるべきである。彼らは優しさ、寛容、忍耐を働かせ、低く落ち着いた口調で話し、混乱を避け、互いに母親の重荷を軽くするために最善を果たすべきである。物事をだらしのない結果で放置し、すべての人が義務からの言い逃れをして、自分でできるし、またすべきである事を他の人にさせるようであってはならない。これらの事柄は些細なことかもしれないが、すべてが合わさると、大変な無秩序をもたらし、神のご不興をもたらす。人生の幸福を損なうのは、小さい事柄、些細な事柄の怠慢である。小事を忠実に果たすことがこの生涯において実現されるべき幸福を作り上げているのである。」（教会への証 2 巻 699, 700）

b. 仕事の祝福のいくつかは何ですか（コロサイ 3:23, 24; 伝道の書 5:12）。規則正しい仕事の恩恵に関して、わたしたちは子供に何を教えるべきですか。

「神は、頭脳を活動させ、身体を強壮にし、能力を発達させるために、労働を祝福として人間にお与えになった。……働く男女だけが、生活の真の喜びを発見する。」（人類のあけぼの上巻 25, 26）

「人生は真剣に働き、責任を負い、骨を折ることであるということを青少年たちに教えなければならない。彼らは、実際的な人間—非常事態と戦うことのできる男女となる訓練を受けなければならない。組織だった、規則正しい労働は、人生の浮き沈みの防壁としてばかりでなく、円満な進歩に役立つものとしてなくてはならないものであることを、少年少女たちに教えなければならない。」（家庭の教育 370）

「もし子供たちが仕事を母親と分け合うなら彼らは有用な仕事で、人を低めるよりも高めるものであって、幸福には不可欠なものだということを悟るようになる。」（同上 373）

5. 家庭の奉仕

- a. 主人のための奉仕に子共たちを準備させるために、わたしたちは何を教えることができますか (ガラテヤ 5:13 (下旬) ; 箴言 15:33; ペテロ第一 5:5)。

「ごく小さいときから人を助けることを教え、体力と思考力が十分に発達したら、家庭で仕事を与えるべきである。父母を助け、自分を制し、統御し、自分の便宜を計る前に他人の幸福と便宜を考え、機会をとらえて兄弟姉妹や遊び友達を元気づけ、また助け、老人や病人や不幸のある人に親切を示すように励まされなければならない。真の奉仕の精神が家庭にもっとみなぎれば、それだけ子供の生涯にもそれが養われ、子供は他人を益するための奉仕や犠牲に喜びを見いだすことを学ぶものである。」(家庭の教育 23)

- b. もしわたしたちが注意しないなら、何がわたしたちのクリスチャンの証を妨げるかもしれませんか (コリント第一 15:33)。

「神と関係のない人でその行為が神によろこばれないような人と交際することはクリスチャンにとって安全ではない。……むなしい、くだらない、不信仰な親類を自分の家庭に招待する人が多くあるが、こうした不信仰な人たちの手本と感化は家庭の子供たちにいつまでも残る印象を与える。」(青年への使命 434)

個人的な復習問題

1. 親がキリストを知り、愛するよう子供たちを訓練することは、どのように重要ですか。
2. わたしたちは重要でないことにおいて、あくまでも自分自身の道を取ることに固執するならば、何が起こりますか。
3. 親はどのように自分の子供たちに、自分たちを敬うよう教えることができますか。
4. 仕事の恩恵のいくつかは何ですか。
5. 真の奉仕において喜びを見いだすことをどこで学びますか。

親戚と共に生活する

「あなたは、年が若いために人に軽んじられてはならない。むしろ、言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい。」(テモテ第一 4:12)

「改心していないあなたの友人や親せきの願いを満足させるために、あなたの宗教的な権利や特権を譲ってはならない。あなたはたとえ自分と近いつながりのある人々に真っ向から反対することになっても、真理のために自分の立場をとるよう召されているのである。」(教会への証 4 巻 117)

推奨文献： 教会への証 5 巻 542-549;
神のむすこ娘たち 51, 52

日曜日

5月21日

1. 神を第一とする

a. 神はわたしたちの生活において、どの地位を得るべきですか。わたしたちのほかの関係においてはどうですか (マタイ 22:37-39)。

「神の御霊が人のうちにあるとき、その人を導き、苦しみを作り出すよりは、軽減させる。……わたしたちはすべての苦しんでいる事情に心をかけ、能力の最高を尽くして困窮している人を軽減すべき神の代理者として自らをみなすべきである。……自分の親戚や友人や好きな人には大きな愛情を表しながら、優しい同情を必要としている人々には親切や思いやりを表さない人々がいる。」(神のむすこ娘たち 52)

b. わたしたちがどんな人間の絆にもまさって神を優先するとき、どの約束がありますか (マタイ 19:29; ヘブル 13:5 (下句))。

「もしキリストのために、あなたが父、母、姉妹、兄弟、妻、子どもを捨てなければならぬとしたら、あなたは友のない者となることはない。神はあなたをご自分の王族に養子として入れて下さり、あなたは王の家族の一員、諸天の天を治める王のむすこ娘となるのである。」(教会への証 1 巻 510)

2. 他の人々と同様に家族を助ける

a. キリストのための働きをどこで始めるべきですか（箴言 22:6; イザヤ 8:18）。

「キリストとの関係を形成するにあたり、新しくされた人は、自分に定められた神との関係に戻るに過ぎない。……彼の義務はその周囲に、近くに遠くにある。彼の最初の義務は自分の子供たちと最も近い親戚である。何かもっと大きな外の輪のために内輪をなおざりにする言い訳とはならない。……

「親が自分の家族の中で忠実に義務を果たし、抑制し、正し、助言し、勧告し、導くならば一家庭の祭司として父親が、家庭伝道師として母親が一彼らは神が占めるように言われた領域を占めているのである。家庭における自分たちの義務を忠実にを行うことによって、彼らは家庭の外で善をなす代理人を増やしているのである。彼らは教会で働くのによりふさわしいものとなっていつている。慎重に小さい群れを訓練し、自分の子供たちを自分たちと神に結び付けることによって、父親と母親は神と共に働く共労者となっているのである。」（神のむすこ娘たち 223）

b. もしキリストがわたしたちのうちに宿っておられるならば、どのように他の人々を扱うようになりますか（イザヤ 50:4）。

「クリスチャンである人は、自分の親戚や仲間のために優しい言葉を持つようになる。彼は優しく、礼儀正しく、愛し、同情的で、上にある家族と共に住むことができるように自らを教育するのである。」（今日のわたしの生涯 196）

c. わたしたちが自分自身の家族の中に自分のすべての注意の焦点を当てるよう誘惑されるとき、イエスの奉仕におけるこのお方の模範から何を学ぶことができますか（ルカ 19:10）。

「わたしたちは自己と利己心を足の下に踏みつけ、イエスが地上におられたときに表された自己犠牲の精神と無私の慈善を自分の生活の中で具現化しなければならない。すべての人は自分の親戚に関心を持つべきであるが、あたかもイエスが救いに来られたのは彼らしかいないかのように、自分たちだけで閉じ込めるべきではない。」（教会への証 2 巻 77）

3. わたしたちの原則を曲げてはならない

- a. わたしたちが今日、健康改革者である理由は何ですか（コリント第一 6:19, 20; 10:31; テモテ第二 1:7; イザヤ 7:15）。わたしたちが友人や親せきに会う時に、健康の習慣を変えないのはなぜですか。

「聖書と神の霊の証を通して神が与えて下さった光に従い、標準をできる限り神のご命令通りに高める者は、神の取り計らいに反して生活している知人や、親戚など、たとえそれが、一人か二人、あるいは多数の希望であっても、それに応じるために自分の行動方針を変えることはしない。もし我々がこれらのことで原則によって行動し、厳格な食事の方法を守り、クリスチャンとしての神のご計画に従って自分の味覚を教育するならば、神の御旨にかなう感化を他に及ぼす。問題は、『我々が真の健康改革者となる意志があるか否か』ということである。」（食事と食物に関する勧告 32）

- b. わたしたちはどのようにクリスチャン生涯を送るべきですか（ヨハネ第一 3:18; マタイ 5:16; テサロニケ第一 2:12）。不信心な親戚を喜ばせるためにわたしたちの習慣を変えるとき、どのような危険に直面しますか。

「不信心な親類や友だちをよろこばせるために、ある程度譲歩しなくてはならないと考える人が少なくない。しかし、ここまでという限界線はなかなかひきにくいので、一度譲歩すればその次も譲歩しなくてはならなくなる。したがって、かつては忠実だったクリスチャンの信者がついには生活においても品性においても世俗の習慣に一致するようになる。こうして神との結合は破れる。彼らは名ばかりのクリスチャンになる。」（青年への使命 434）

- c. わたしたちが教会の外にいるとき、神はどのようにふるまうことを求めておられますか（テモテ第一 4:12; コリント第二 6:17, 18; テトス 2:14）。

「わたしたちが不信の親戚や仲間に対してこれほど感化力がない理由は、わたしたちが世の習慣と自分たちの習慣が決定的に異なることをほとんど表してこなかったためである。」（クリスチャン教育の基礎 289）

「あなたがたの親戚や友人のいるところで、あなたのあらゆる仕事上の関係の中で、世とのあなたの交わりにおいて、一どこであつてもあらゆるところで、あらゆる状況下で—イエスのために立ちあがりなさい。」（教会への証 5 巻 341）

4. わたしたちの決定において堅く立つ

- a. 世の友人や親戚に影響される代わりに、わたしたちはどのように自分の決定をなすべきですか（コリント第一 11:1; ヤコブ 1:5; 詩篇 119:105; ガラテヤ 5:24）。

「あなたは自分の親戚や特別な友人の言葉があなたの意見に感化を与え、あなたの決定に影響するのを許してしまう。あなたはそれらをあまりにたやすく信じ、彼らの見解を自分自身の考えに取り入れ、あまりにもしばしば迷い出してしまう。……あなたの判断、あなたの気持ち、あなたの見解は彼らを感化し、また今度は彼らがあなたを感化する。あなたが完全にへりくだって、徹底的に神に献身しない限り、こうして強い潮流は誤った方向へ定まってしまうことになる。」（教会への証 3 巻 506）

「神がわたしたちに与えて下さった尊い命は、肉なる思いを喜ばせる方法で不信心な親戚によって形成されてはならない。かえって、神が是認される方法で用いられるべきである。」（同上 4 巻 236）

- b. 自分自身の子らに関して、親にどの責任が与えられてきましたか（箴言 22:6）。友人や親戚はこの働きを妨げるかもしれませんか。

「子供たちの管理を人々まかせにしないように注意なさい。神からあなたに与えられた責任を、あなたからすつかりとり除くことのできる人は、だれもない。……人はみな親を心から尊敬しなければならないが、自分の子供たちの取扱いにおいては、どんな干渉も拒んで、自分自身で指導管理をしなくてはならない。」（家庭の教育 305）

- c. 自分たちのクリスチャンの諸原則をどこにしようとも維持することをしない人々にどのような警告が与えられていますか（ヤコブ 1:6（下句）, 8）。

「神がすべての人に自分自身の船をまっすぐ安全に港へ操縦することのできない自分自身の個人的な無力さを自覚させて下さるように。キリストの恵みが毎日必要不可欠である。このお方の比類のない恵みだけが、わたしたちの足を倒れることから守ることができる。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1109）

「だれかを喜ばせるために決して真理を譲ってはならない。断固として、確固として、しっかり確立していなさい。不確かな思いであってはならない。」（霊的な賜物 2 巻 266）

5. 特別な働き

- a. 別れた家庭に住んでいる人々にどの働きがありますか (コリント第一 7:12-14, 16)。

「わたしたちは助言を懇願する多くの手紙を受け取る。一人の母親は自分の夫が不信者であると言う。彼女には子供がいるが、彼らは父親から母親を敬わないように教育されている。彼女は自分の子供たちに対して深く重荷を負っている。彼女はどの道を行くことができるかわからずにいる。それから彼女は神のみ事業において何かしたいという自分の切望を表現し、もし自分が彼らのために役に立てないといわかならば、家族を去る義務があると思うかどうかをわたしに尋ねる。

わたしは答える、わが姉妹よ、わたしはあなたが自分の夫と子供たちを去ってなお、主の前に責任をまぬかれることができるとは思えない。あなた自身そのようにできると感じるとは、わたしには思えない。……確かに、あなた自身の子供たちをあなたが世話するのがあなたの義務であると思う。これこそ、あなたに定められた働きのあるあなたの伝道地である。……

サタンがあなたの子供たちの父親を、あなたの働きに対抗するために用いるからといって、失望してはならない。戦いを放棄してはならない。彼らにしてほしいと望むとおりあなたにいなさい。あなたの夫をいつでもいかなる場合にも親切に扱いなさい。そしてあなたの子供たちを愛のひもであなたの心に結びつけなさい。……

これがあなたの働きを明白にする。サタンがあなたの子供たちを自分自身に獲得しようと働いている家庭の中で、あなたの光を輝かせなさい。……あなたの夫や子供たちの同情を求めて語ったり嘆願したりしてはならない。そうではなく、単純にキリストの生涯を送りなさい。言葉に、精神に、品性に、柔和に、忍耐と寛容に、快活さに、道、すなわち天へ導く道を指し示す道標となりなさい。」(性的なふるまいについての証 44, 45)

個人的な復習問題

1. もしわたしたちが神を最高に愛するならば、他の人々をどのようにに取り扱うようになりますか。だれをなおざりにしないように気をつけますか。
2. わたしたちは自分たちの第一の義務をどの種類の人々に対して負っていますか。これだけがわたしたちの義務ですか。
3. わたしたちは不信者の親戚にどのような積極的な感化を及ぼすことができますか。
4. 子供たちに対してだれが統治の手綱を握るべきですか。なぜですか。
5. 別れた家庭に住んでいる親に、どの伝道の働きがありますか。

第一安息日献金 マドリッドの教会地所のために

スペインは主にイベリア半島に位置し、ヨーロッパの南西にあります。また大西洋や地中海の群島もあり、北アフリカ沿岸に近い小さな領域にいくつかあります。4600 万人を越える民主国家で国会制度と立憲的な君主制です。スペインは観光業が伸びており、世界で第三番目に訪問客の多い国となっています (2014 年)。調査によると (2015 年)、スペインの人口 71.8% がカトリックだと思われます。しかし、スペイン人の 18 歳から 24 歳のあいだでは、わずか 48.4% が自分がカトリックだと述べており、47.1% は宗教的な事柄を考えないか、あるいは不信者かあるいは無神論者です。



マドリッドは歴史的には「村」として区分されていました、スペインの首都です。320 万人の住民がおり、マドリッド地域では、最大の地方自治体です。大都市地域の総合人口数は 650 万人です。多くの多国籍企業にとって、ここは商業の拠点であり、また政治的、経済的、文化的なスペインの中心地です。

セブンスデー・アドベンチスト改革運動はスペインにおいて非カトリック宗派として 1972 年に公に登録されました。それ以来、多くの信徒、牧師、働き人がわたしたちの主イエス・キリストの福音をこの伝道地で宣布し働いています。

働きの良好な状態により、わたしたちの信徒の多くが 2000 年までに他の国からスペインに移住し、今も続いています。これにより、マドリッドに土地を購入する必要が生じました。わたしたちはこれを礼拝の宮としました。この灯台を主のために設立するのを援助するため、銀行と資金契約を結びました。これまでに借金の 3 分の 1 を返済してきました。しかしながら、スペインの経済状況が近年下降し、多くの信徒たちは他国へ移住を余儀なくされ、これによりマドリッド教会員数が減少しています。これによりここにいるわたしたちが、教会の財産を守るために必要な返済契約に応じるのが困難な状況になりました。

この理由により、この事業のために惜しめない献金を捧げることによってこの必要においてわたしたちを助けてくださるよう世界中のすべての兄弟、姉妹、子供たち、友人たちの善良な心に訴えます。先だって、心から、感謝申し上げます。皆さんと皆さんの家族をみな祝福して下さいますよう主にお祈りいたします。

マドリッドより皆さんの兄弟姉妹より

教会家族

「兄弟愛を続けなさい。」(ヘブル 13:1)

「すべての人は間違いを犯しやすいものである。だれも完全な人はいない。主イエスは誤っている者が許されることができるようになれたのである。非難することはわたしたちの働きではない。キリストは非難するためではなく、救うために来られたのである。」(天国で 292)

推奨文献：教会への証 2 巻 73-77

日曜日

5月28日

1. わたしたちの周りにいる人々を助ける

- a. わたしたちは特別にどのグループの人々に心を用いるべきですか (ガラテヤ 6:10)。それはなぜですか (マタイ 12:50)。

「わたしはやもめや孤児、盲人、聾者、足の不自由な人また様々な方法で苦しんでいる人々が教会に対して緊密なクリスチャン関係に置かれてきたのは、神のみ摂理であったことを見た。それは神の民を試し、彼らの真の品性を発達させる。神の御使たちはわたしたちの同情、愛、そして無我の慈善を必要としているこれらの人々をわたしたちがどのように扱うかを見ている。これはわたしたちの品性に対する神のテストである。もしわたしたちが聖書の真の宗教を持っているならば、キリストの兄弟のために、キリストに対して愛、親切、関心という負債があることを感じるであろう。そしてわたしたちは自分たちの兄弟であり、自分たちよりも恵まれていない人々のために深い関心と無我の愛を持つことによって、わたしたちがこのお方の恵みに値しない罪人であったときに、わたしたちを愛してくださった計り知れない愛に対する感謝を示さないではいられないのである。」(教会への証 3 巻 511)

- b. もしわたしたちに純粋な宗教があるなら、どのような義務を果たすようになりますか (ヤコブ 1:27; マルコ 14:7)。

「人の必要や苦しみがあるところではどこでも、伝道の働きのための畑があるのである。」(福祉伝道 35)

2. 兄弟愛を培う

- a. 神の愛がどのようにわたしたちに示されましたか。この愛はわたしたちをどの義務の下へ置きますか (ヨハネ第一 4:9, ヨハネ第一 3:16)。

「罪人が自分の代わりに、自分の救い主が罪の呪いの下で十字架上で死なれていくのを見て、このお方の許しの愛をながめるとき、愛が彼の心のうちに目覚める。罪人がキリストを愛する、なぜならキリストが初めに自分を愛してくださったからである。」(エレキッド・メッセージ 1 巻 374)

「魂のうちに宿っているキリストは、他の魂のうちにえられるキリストと争うことはない。わたしたちは自分の周りにいる人々の特異性にがまんすることを学ばなければならない。もしわたしたちの意志がキリストのみ旨の支配下にあるならば、どうしてわたしたちは自分の兄弟たちと衝突していることができるであろうか。もしわたしたちが衝突しているならば、それは自己が十字架につけられる必要があるからだということがわかる。キリストが自由にしてくださった人は、本当に自由なのである。わたしたちはキリストがわたしたちを愛してくださったように互いに愛するのでない限り、キリストのうちにあって完全なのではない。キリストがわたしたちに戒めをくださったように、わたしたちが愛するとき、自分たちがこのお方のうちにあって完全であるという証拠を与えるのである。」(この日を神と共に 262)

- b. わたしたちが兄弟姉妹を愛することができる前に、神とどのような関係を持たなければなりませんか (ヨハネ第一 4:7, 12)。

「天の家族に生まれた者はみな、特別な意味において主の兄弟である。キリストの愛が主の家族を結びつけ、この愛があらわされるところにはどこにでも天の関係があらわされる。」(各時代の希望下巻 108)

「わたしたちの義務は、キリストの愛の気の中で生きること、このお方の愛を深く呼吸すること、そしてその温かさをわたしたちの周囲に反射することである。」(わたしたちの高い召し 175)

- c. わたしたちはどのように互いに愛するべきですか (ペテロ第一 1:22, 23)。

「神だけが、あなたを導いてご自分の憐れみ、愛、そして寛容を認めさせ、あなたが愛によって働き魂を清める信仰を持つようにさせることがおできになる。これは神の賜物である。」(彼を掲げよ 252)

「わたしたちは自分の心の中に愛を抱く必要がある。わたしたちはすぐに自分の兄弟たちの悪を考えるようであってはならない。彼らがなすこと、言うことについて解釈することを最小限にすべきである。わたしたちは聖書的なクリスチャンでなければならない。」(この日を神と共に 83)

3. わたしたちの経験において成長する

- a. 自分のクリスチャン経験において成長するために、あなたとわたしはどの選択をすることができますか（エペソ 4:21-24）。

「改心はほとんどの人が正しく評価しない働きである。地についた罪を愛する心を変えて、キリストの言いつくせない愛やこのお方の恵みの魅力、そして神の卓越さを理解させ、こうして魂が神聖な愛を吹き込まれ、天の神秘に心を奪われるようにすることは、小さなことではない。彼がこれらの事を理解するとき、自分のかつての生活はうんざりする忌まわしいものにみえる。彼は罪を憎み、自分の心を神のみ前に砕き、キリストを魂の命、また喜びとして奉ずる。彼は自分のかつての娯楽を捨てる。彼は新しい思い、新しい愛情、新しい関心、新しい意志を持ち、彼の悲しみ、願い、愛はことごとく新しいのである。……つまらなく興味の持てなかった神のみ言葉を、今や自分の研究主題、自分の勧告の人として選ぶ。それは神から彼にあてられた手紙として、とこしえなるお方の銘を帯びている。彼の思想、彼の言葉、彼の行いはこの規則に持ち出されて、テストされる。彼はそこにある命令や脅迫に震えるが、その一方で彼は固くその約束をつかみ、自分自身にそれらを適用することによって自分の魂を強める。」（信仰によってわたしは生きる 139）

- b. わたしたちはどのような方法で霊的に成長すべきですか（ペテロ第二 3:18）。

「クリスチャンは他人を強めることによって強きを得るのである。『人を潤す者は自分も潤される』。これは単なる約束ではなく、神聖な法則である。すなわち、慈善の流れが深淵からの湧き水のように絶えず循環を続け、絶えずその源へ戻るように計画された法則なのである。この法則を満たすことが、霊的な成長の秘訣である。……

どのようにして恵みに成長することができるであろうか。それはただ心から自己を空にし、神聖な型に従ってかたどっていただくためにそれを天に差し出すときのみ、わたしたちに可能である。……わたしたちが神の祝福を自分のものとするとき、このお方のより大きな測りに従って恵みを受けるようになる。」（SDA バイブル・コメント 7 巻 947）

「興味をもって聖書をさぐり、そこに示されている真理と義の道に従うとき、わたしたちはイエスをもっとよく知ることができる。たえず恵みのうちに成長する者は、信仰に堅く立って前進する。」（青年への使命 115）

4. 誤っている者を取り扱う

- a. 自分たちの兄弟姉妹との交流の中で、わたしたちは何を覚えているべきですか（ルカ 21:19; ヨハネ 15:12）。

「最も必要としている人に愛を与えなさい。最も恵まれていない人、最もいやな気質を持っている者が、わたしたちの愛、優しさ、同情を必要としている。わたしたちの忍耐を試す人が最も愛を必要としているのである。」（クリスチャン教育の基礎 281）

「わたしたちは互いに愛そうとすることによって始める必要はない。心のうちにあるキリストの愛こそ、必要とされているものである。自己がキリストのうちに没入するとき、真の愛が同時に沸きでるのである。」（福音宣伝者 497）

「過ちを犯している者に、キリストのような忍耐と愛を示すことは必要であるが、過ちに寛大すぎると、譴責を受けるほどでもないと彼に思い込ませてしまい、その譴責を不必要なもの、不当なものとして拒むようにさせてしまう危険がある。」（患難から栄光へ下巻 200）

「あなたは助けを最も必要としている人、最も恵まれない状況にある人、過ちを犯し、欠点がある人、おそらくはあなたを傷つけ、あなたの忍耐を最高にまで試してきた人を助けるべきである。イエスが憐れまれるのはまさにそのような人である。なぜなら、サタンは彼らに対してより大きな力を持っており、絶えず彼らの弱点につけ込み、自分の矢を彼らが最も防備の少ないところに打ち込んで傷つけようとしているからである。」（教会への証 2 巻 75）

- b. もしある兄弟がだれかに対して罪を犯しており、わたしたちがそれについて聞いたとしたら、まず最初にとるべき過程は何ですか（マタイ 18:15; レビ記 19:16）。

「兄弟や姉妹に対して不利な報告を聞いてはならない。……その告発を持ってきた人にこの問題に関して神のみ言葉に従ったかどうかを尋ねなさい。キリストは何をなすべきか明確な指示をお与えになった。あなたの兄弟のところへ行き、彼にその欠点を彼とあなたの間だけで告げなさい。……」

苦情の元があなたと告白された人の間にあってもなくても、キリストの禁止命令は同じである。あなたの兄弟は助けを必要としている。彼に、他の人にではなく、彼について報告が巡っていることを告げなさい。彼に説明する機会を与えなさい。報告が間違っていて、困難が何か単純な説明で調整できることもある。この取り扱いとは過ちに陥っていると思われるすべての人に与えられるべきである。」（天国で 292）

5. 回復を促進する

- a. 過ちに陥っている人に対してわたしたちは、どの態度をとるべきですか。わたしたちの目的は何であるべきですか（ガラテヤ 6:1, 2; ペテロ第一 4:8; テトス 3:2）。

「回復の働きがわたしたちの重荷となるべきことを心に留めていなさい。この働きは誇り高く、差し出がましい、専横なやり方でなされるべきではない。……

自分の兄弟の深刻な必要を無視している人は、神のみ摂理のうちに自分の兄弟が試練と悲しみのうちに通ってきた同じ場所を通るように導かれ、苦い経験によって、自分が嫌悪感を感じてきたその苦しんでいる人と同様に無力で欠乏している者であることがわかるようになるのである。」（教会への証 6 巻 398, 399）

- b. 誤っている人の回復をしばしば妨げるのは何ですか（箴言 11:13; 18:8）。

「噂話、告げ口、秘密をもらすこと、品性の分析は魂を神から引き離す。それは冷静と静かな宗教的感化力にとって死である。……

クリスチャンは自分の言葉に気をつけるべきである。彼らは決して友人の一人の好ましくない報告を他の人に告げるべきではない。特にその人たちの間に一致が欠乏していることに気が付いている場合はなおさらである。この友人やあの知人に関して他の人々が知らないことを多く知っているかのように暗示したり、ほのめかしたりすることは残酷なことである。そのような暗示はさらに進み、大げさでない方法で事実をありのままに語るよりも、ますます好ましくない印象を作りだす。キリストの教会がこのような事柄から害を被ってこなかったならば！」（同上 2 巻 185, 186）

個人的な復習問題

1. わたしたちが真の聖書的な宗教を実践していることをどのように示しますか。
2. 聖書的なクリスチャンは、信仰による自分の兄弟姉妹たちをどのように扱いますか。
3. わたしたちはどのようにもっと強いクリスチャンになれますか。
4. わたしたちはどのように互いに愛せますか。特にだれに愛を示すべきですか。
5. もしわたしたちが誤っている兄弟や姉妹の回復を助けるのを拒むとしたら、わたしたちに何が起こりますか。

教会：世に対する光

「あなたがたは、世の光である。」(マタイ 5:14)

「選民であるイスラエルによって、神が世界のためになそうとご計画になったことを、神はついに今日の地上の教会によって達成なさるのである。」(国と指導者下巻 314)

推奨文献：(患難から栄光へ上巻 1～17)

日曜日

6月4日

1. 神のご品性を表す民

- a. 教会を通してどの目的が成し遂げられるべきですか (エペソ 3:9-11; コリント第二 4:6; ペテロ第一 2:9)。

「教会を通して神の満ちあふれる豊かさを世界に反映させることが、神のはじめからのご計画であった。暗やみから驚くべき光に招き入れられた教会員たちは、神の栄光をあらわさなければならない。教会はキリストの恵みに富んだ宝庫であり、教会を通して神の愛がついには『天上にあるもろもろの支配や権威』に対してさえも十分明らかに示されるのである (エペソ 3:10)。」(患難から栄光へ上巻 1)

- b. 神はわたしたちにどの働きを与えてくれましたか。またわたしたちはどのようにこの働きにあずかる者となりますか (コリント第二 5:18, 19; ヨハネ 20:21)。

「人間は罪を犯して墮落したために、自分の力では、清く恵み深い性質の神と調和することができなくなった。しかし、キリストは、律法の罪の宣告から人間を贖ったあとで、上からの力を人間に与えて、人間の努力とそれを結合させることがおできになるのであった。こうして神に対する悔い改めとキリストを信じる信仰によって、アダムの墮落した子らは、もう一度『神の子』(ヨハネ第一 3:2) となることができるのであった。」(人類のあけぼの上巻 54)

2. キリストと一致して働く

- a. イエスは弟子たちが世に証する力を得るために、何を彼らのために御父にお求めになりましたか (ヨハネ 17:20, 21)。

「これら〔キリストによって区別された〕最初の弟子たちには著しい相違点があった。彼らはこの世の教師とならなければならなかったが、品性にはなほだしく異なるさまざまな型を代表していた。この人たちはゆだねられている仕事を立派に進展させるためには、素質も生活習慣も違うので、感覚、思想、行動において一致する必要があった。この一致こそ、キリストが確かなものにしたいと目指されたものであった。この目的のために、キリストはご自身と一つになるよう弟子たちを導かれた。」(患難から栄光へ上巻 12, 13)

「わたしたちはふたりの人がまったく同様であることを見出すことはほとんどない。すべての人の間には、自然界の事物の間にあるのと同様に、多様性がある。神の子らの間にある多様性の中の一致一気質の相違にもかかわらず愛と寛容の現れること—これが神が罪人を救うためにご自分の御子を世に遣わされたという証である。……

キリストとの結合が緊密であるほど、互いの一致も緊密になる。」(神のむすこ娘たち 286)

- b. 教会にあるどの態度が、他の人々に自分たちが信じると告白する真理についての力強い証ですか (エペソ 4:1-3, 31, 32)。

「わたしたちには維持すべき品性があるが、それはキリストの品性である。……わたしたちのうちにおられるキリストは兄弟の中のキリストと会い、わたしたちが神の子であることを世に証する心と行動の一致を聖霊が与えてくださるのである。」(神の驚くべき恵み 211)

「偉大な教師から学びなさい。親切と同情の言葉は薬のように良い働きをし、絶望のうちにある魂を癒す。実生活の中で実践された神のみ言葉の知識には癒し、和らげる力がある。」(福音宣伝者 163)

「多くの人々は人生の大きな闘いの中で弱り、失望している。彼らにとって、親切な元気づけ勇気を与える一言が勝利するための力を与えるのである。……わたしたちは自分たちの優しい親切な言葉、重荷を軽くするためのキリストのような努力がどれほど遠くにまで届くか告げることはできない。誤っている人は、他の方法ではできないときに柔和と親切と優しい愛のうちに回復されることができるのである。」(今日のわたしの生涯 235)

3. 他の人々に神の愛を表す

- a. わたしたちは信仰の兄弟姉妹に対してどのように行動すべきですか（ピリピ 2:3）。自分自身についての意見において、わたしたちはなぜへりくだるべきなのですか（マタイ 23:8; コリント第一 4:7; コリント第二 10:12）。

「イエスの精神と愛のうちにいる人々は、このお方と一つになり、愛という絹のひもで結ばれて、互いに緊密な交わりの中にあるようになる。」（神のむすこ娘たち 300）

「自己を十字架につけなさい。ほかの人々を自分よりも優れたものとしなさい。こうしてあなたはキリストと一つになるよう導かれるのである。全天の前で、そして教会と世の前で、あなたがたは自分たちが神のむすこ娘である間違いようのない証拠をにうようになる。神はあなたが示す模範のうちに栄光を受けられる。」（教会への証 9 巻 188）

- b. 原則をあからさまに犯すことがないところでは、わたしたちは互いの確信を尊重して、どの規則に従うべきですか（ローマ 14:10, 13）。

「各個人に属する権利がある。わたしたちは個性と自分自身の特徴を持っている。だれも自分の個性を他の人の個性に埋没させることはできない。すべての人が自分自身の良心の述べることに従って、自分で行動しなければならない。」（牧師への証 422）

「だれであってもひとりの人の声と感化がいつも支配力となるよう許されるべきではない。」（医事伝道 165）

- c. もしわたしたちが自分の兄弟姉妹と真の交わりを持つとしたら、どの条件に應じなければなりませんか。そのとき、わたしたちの経験はどうなりますか（ヨハネ第一 1:7）。

「神は十字架につけられた救い主の功績に完全に信頼してご自分の許に来るすべての人を受け入れて下さる。愛が心のうちにわき出る。感情の高揚はないかもしれないが、変わらない平安な信頼がある。すべての重荷は軽い。なぜなら、キリストが置かれるくびきは負いやすいからである。義務が喜びとなり、犠牲が楽しみとなる。かつては闇に覆われているように見えた道が義の太陽からの光線で明るくなる。これがキリストが光のうちにおられるように光のうちは歩むということである。」（レクテッド・メッセージ 1 巻 354）

4. 調和して働く

- a. ダマスコへの途上のパウロの経験と改心は、罪人を救うために教会員をお用いになる神のご計画を、どのように表していますか (使徒行伝 9:6, 10, 11, 15)。

「パウロの改心において、わたしたちがいつも心にとめているべき重要な諸原則がわたしたちに与えられている。世の贖い主は宗教的な事柄において、ご自分が教会を持っておられるところで、ご自分の組織され認められた教会と関係なく持たれた経験や働きを是認されない。

多くの人々は、光と経験において、世におけるこのお方の認められた信徒たちと関係なく、キリストに対してだけ責任があると考えている。しかし、これはわたしたちを教えるために与えられた教えと模範と事実のうちに、イエスによって非難されている。最も重要な働きのためにキリストがふさわしいものにしようとしておられた人、キリストのための選ばれた器となるべきであった人、そのパウロは、直接キリストのご臨在の前に導かれた。しかし、このお方は彼に真理の教訓をお教えにならなかった。このお方は道中彼をとらえて、罪を自覚させた。そして彼が『わたしに何をおさせになりたいのですか』と尋ねたときに、救い主は直接彼に語られずに、彼をご自分の教会とのつながりに置かれる。彼らがあなたに何をなすべきかを告げるであろう。」(教会への証 3 巻 432, 433)

- b. わたしたち、教会の体とキリストの間には、どのような相互関係がありますか (エペソ 4:14-16)。

「教会組織の中で一致するクリスチャンの一群がみな同じタラントを持っているわけではないが、すべての人になすべき義務がある。タラントは多岐にわたるが、すべての人に自分の働きが与えられている。すべての人が神にあってキリストに依存している。このお方は、神のみ言葉を信じる信仰を通して結び付けられたあらゆる階層や階級の人々の栄光に満ちた頭であられる。天の諸原則を信じる共通の信仰によって共に結び合わされ、彼らはみな自分の信仰の創始者であり完成者であられるお方に依存している。このお方は万人の一致、万人の愛を生む諸原則を創造された。このお方に従う人々はこのお方の愛を瞑想すべきである。彼らは自分たちの前に置かれた標準に達しないでとどまるべきではない。もしキリスト教の諸原則に生きるなら、それらは万人の調和と完全な平安を生み出すのである。心にキリストの御霊が吹き込まれるならば、争うことや、最上位を求めることや、主権を握る主人になるために奮闘することはない。」(上を仰いで 104)

5. 奉仕のために組織される

- a. わたしたちはどのように自分の兄弟姉妹に対する自分の愛を表すべきですか（ヨハネ第一 3:18）。

「天の家族に生まれた者はみな、特別な意味において主の兄弟である。キリストの愛が主の家族を結びつけ、この愛があらわされるところにはどこにでも天の関係があらわされる。『すべて愛する者は、神から生れた者であって、神を知っている』（ヨハネ第一 4:7）。

さばきのときに、キリストからほめられる者たちは、神学についてはほとんど知っていなかったかも知れないが、彼らはキリストの原則を心に宿していた。天来のみたまの感化を通して、彼らはまわりの人たちの祝福になっていた。」（各時代の希望下巻 108）

- b. イエスはどのように奉仕の生涯が真の偉大さと結びついていることを示されましたか（マルコ 9:35; マタイ 20:25-28）。

「救い主の地上における生涯は、安楽な自己中心の生活ではなかった。彼は、たゆまず熱心に失われた人類の救いのために労された。馬槽からカルバリーに至るまで、彼は自己犠牲の道をたどり、至難なわづ困難な旅路など、いかなる労苦をも避けようとはされなかった。……神のみ心をなし、神のみわざを成し遂げることは救い主の食物であった。彼の働きのうちには、私心とか私欲とかは全く見られなかった。

そのように、キリストの恵みにあずかった人々は、喜んでどんな犠牲をも払いキリストがいのちを与えてくださった他の人々も天の賜物を受けることができるようにする。彼らはできるかぎりを尽して、この世を少しでも住みよい世の中とする。」（キリストへの道 105, 106）

個人的な復習問題

1. 教会は世に対して何を表すべきですか。
2. わたしたちはどのように教会における真の一致を示すことができますか。
3. わたしたちはどのようにして感情を超越した他の人々への愛を持つことができますか。
4. わたしたちを兄弟姉妹と一致させる共通のきずなは何ですか。
5. もしわたしたちが他の人々に対するイエスの奉仕の模範に従うなら、何を喜んでなすようになりますか。

事業における忠実

「あなたはそのわざに巧みな人を見るか、そのような人は王の前に立つが、卑しい人々の前には立たない。」(箴言 22:29)

「宗教が人生の大事業とされなければならない。他のすべてのことはこれに従属させられなければならない。魂、体、霊のすべての力はクリスチャンの戦いに動員されなければならない。わたしたちは力と恵みを求めてキリストを眺めなければならない。そのときイエスがわたしたちのために死なれたのと同じくらい確実に、わたしたちは勝利を得るのである。」(聖化された生涯 93)

推奨文献：教育 149 ～ 163

日曜日

6月11日

1. 型に従う

- a. わたしたちは自分のあらゆる事業の業務をどのように行なうべきですか (ヘブル 8:5; マタイ 5:48)。

「クリスチャンが手を染めるすべての事柄において、永遠の命の思想が織り込まれるべきである。もし実行される働きがその性質において農業であったり、商業であったりしても、なお天の型に従っていることができる。……キリストの恵みを通して、キリストのようなご品性を完成させるためのすべての備えがなされてきた。そして神はご自分の民が自分たちのすべての社会的また実業的取引において天の諸原則を表すときに、誉をお受けになる。」(天国で 154)

- b. イエスが公生涯に入られる前、このお方は仕事生活においてどのようでしたか (ルカ 2:52)。

「イエスをご自分の労働に快活さと気転とを持ち込まれた。家庭生活と職場に聖書の宗教をとり入れ、世の中の仕事の重荷を負いながらなお神の栄光に対して目が澄んでいるためには (マタイ 6:22 参照)、非常な忍耐と霊性とが必要である。この点においてイエスは人々の助けとなられた。彼は天の事物のために時間を費したり考えたりする余裕がないほどこの世の苦労を一ぱいかかえておられなかった。」(各時代の希望上巻 67)

2. 曲がることのない高潔さ

a. 神は天の秤で何を測られますか (サムエル上 2:3; イザヤ 26:7; 詩篇 62:9)。

「神は動機、目的、品性を測られる。すべての人は聖所の秤で測られる。そして神はすべての人がこの事実をさとるように望んでおられる。……

神が完全に把握することのできないほど心の奥深くにある動機、わたしたちのうちにある秘密や計画はない。……神は心、思い、魂、力すべてと、『あなたの隣人をあなた自身のように愛する』ことをお求めになる。これが秤の一方に置かれているものであり、各個人の品性は、この反対側の秤に置かれることによって、重さを測るテストを合格しなければならないのである。……

もし神の日に足りないことが見いだされたら、それは恐ろしいことである。であるから、わたしたちは自分自身の動機と行為を神の聖なる律法によって厳密に吟味し、すべての不法の行為を悔い改め、罪人として不足を補うためにキリストの義をつかみたいのである。キリストの血だけがこれをなすのである。」(わたしたちの高い召し 139)

b. 神はわたしたちの他の人々に対するすべての取り扱いにおいて、どのように行動することを望まれますか (ローマ 12:17; ヨブ 31:6)。

「真正直な人は自分自身の財布を満たすために弱さや無能さに乗じることは決してない。彼は自分が売るものに公正に見合うものを受け入れる。もし自分の売った商品に欠陥があれば、それを自分の兄弟や隣人に率直に告げることによって、自分自身の金銭上の利益に相反することになっても、そうするのである。

生活のあらゆる詳細において正直という厳密な諸原則が維持されるべきである。これらはわたしたちの世界を支配している諸原則ではない。なぜなら、欺瞞者であり、偽り者であり、圧制者であるサタンが主人であって、彼の臣民は彼に従い、彼の目的を実行するからである。しかし、クリスチャンは別の主人の下で仕えている。そして彼らの行動は、あらゆる利己的な利益と無関係に、神にあって実行されなければならないのである。」(今日のわたしの生涯 330)

c. 忠実な人々に神は何を約束なさいましたか (ピリピ 4:19)。

「あなたがどの事業に携わる資格を得ているとしても、決して原則を犠牲にしなければ成功することはできないという考えを抱いてはならない。」(ビュー・アンド・ワルド 1884 年 8 月 19 日)

3. クリスチャンの事業家たち

- a. ダニエルの敵たちは、彼の仕事に関して、何を認めざるを得ませんでしたか（ダニエル 6:4）。彼の経験からわたしたちは何を学ぶことができますか。

「事業の分野で働く人々は、誤った原則や方法を通して過ちに陥ることがないようにあらゆる用心をすべきである。彼らの記録はバビロンの宮廷におけるダニエルの記録のようになることができる。彼のすべての仕事の取引が厳密な精査の下にあったとき、たった一つの誤ったものも発見できなかった。彼の仕事人生の記録は、不十分であるにもかかわらず、研究の価値がある教訓を含んでいる。それは事業家がずるがしこく抜け目ない人である必要がないという事実を明らかにしている。その人はすべての段階において神に教えていただく人であることができる。ダニエルはバビロン王国の総理大臣である一方で、神の預言者であり、天の靈感の光を受けていた。彼の生涯はすべてのクリスチャンの実業家が何になれるかという例証である。」（教会への証 7 巻 248）

- b. わたしたちが自分の仕事を行なう方法に関して、アブラハムから何を学ぶことができますか（創世記 23:7-16）。

「サラを埋葬するための場所を購入するために、ヘテ人の子らと実業の取引に携わったときの〔アブラハム〕を見なさい。悲しみのうちにあっても、礼儀正しくあることを忘れなかった。彼は神の貴族でありながら、彼らの前に礼をした。アブラハムは真の礼儀がなんであるかを知っており、人が自分の同胞に対して当然何を払うべきであるかを知っていた。

わたしたちはいつも自己を忘れ、……他の人々を元気づけ、彼らの悲しみや重荷を優しい親切な行為や小さな愛の行為によって軽くし和らげる機会を見張っているべきである。これらの思いやり深い礼儀は、わたしたちの家族のうちで始められ、家族の輪の外へ広がっていき、人生の幸福を築き上げるのを助ける。」（今日のわたしの生涯 192）

- c. イエスはどの模範をわたしたちに残されましたか（エペソ 5:2）。

「わたしは完全な型としてイエスの生涯をあなたに指し示す。このお方の生涯は無我の慈善に特徴づけられていた。……このお方はわたしたちが滅びることなく、永遠の命を得られるように、わたしたちのためになんという犠牲を払われたことであろう！天は私たちがそれを得るために、もしすべての利己的な関心を放棄したとしても十分安価なものである。」（教会への証 4 巻 218）

4. 取引において行き過ぎる

- a. 聖書の中で自分の商慣習において不正直であった人の例を挙げなさい（ルカ 19:2-7）。

『取税人のかしら』ザアカイはユダヤ人で、同国人からきらわれていた。彼の地位と富は人々のいやがる職業の報酬で、この職業は不正と搾取の別名のように考えられていた。しかしこの富める税関役人のザアカイは、それほど冷酷な人間ではなかった。その世俗的で高慢な外観の下には、天来の感化力に動かされやすい心があった。」（各時代の希望中巻 373）

- b. 彼は何をするように導かれましたか（ルカ 19:8）。

「悔い改めた魂はみな、ザアカイのように、自分の生活に目立っている不正な習慣を放棄することによって、キリストが心の中にはいられたことを表明する。この取税人のかしらのように、彼は損害を償うことによって誠実心を証明する。主はこう言われる、『すなわちその悪人が質物を返し、奪った物をもどし、命の定めに歩み、悪を行わないならば、……彼の犯したすべての罪は彼に対して覚えられない。彼は……必ず生きる』（エゼキエル書 33:15, 16）。

もしわれわれが商売上の不正な取り引きで他人に損害を与えたり、商売上のごまかしをやったり、だれかをだましたりしたなら、たとえそれが法律を犯すことではなくても、われわれは、そのまちがいを告白して、力の及ぶかぎり償いをすべきである。われわれは、取ったものを返すばかりでなく、われわれがそれを所有していた間に正しく賢明に用いられたら蓄積されたはずの分まですべて返すのが当然である。」（同上 378）

- c. だれが不正直な実業家でしたか。それはなぜですか（ヨハネ 12:4-6）。

「ユダは弟子たちの会計係であった。彼は弟子たちのわずかな貯えの中からひそかに自分自身のためにひき出して使っていたので、彼らの貯えはだんだん減って、乏しいはした金になってしまっていた。……ユダは、貧しい人たちに対して思いやりはなかった。もしマリヤの香油を売って、その収入をユダの手に渡したとしても、貧乏人は何の益も受けなかったのである。」（同上 385）

5. 实际的な勧告

- a. 不信者との事業の提携について、どのような勧告が与えられていますか（アモス 3:3; コリント第二 6:14, 15）。

「事業に携わっているある兄弟たちは安息日を戒めに従って守ってこなかった。ある人々は不信者と提携してきた。そしてこれらの安息日を破る仲間の感化が彼らに効果を及ぼしてきたのである。ある人々はこのような結びつきの危険性を識別することができないほど盲目になっていた。しかし気づいていないがゆえに危険はなお大きいのである。」（ヒストリカル・スケッチ 215）

- b. わたしたちは、イエスが間もなく来られることを知っているため、どのように自分の事業を行うべきですか（箴言 22:29）。

「人の子が天の雲に乗って来られるのが近いと信じていることによって、真のクリスチャンが生活の通常の仕事において怠慢になったり不注意になったりすることはない。キリストのまもない来臨を待ち望んでいる人々は、怠けることなく、仕事において勤勉である。彼らの仕事は不注意に不正直になされることなく、かえって忠実に、迅速に、徹底的になされるのである。この世の事柄に不注意に油断することを自分たちの霊性や世からの分離の証拠だとうぬばれる人々は大きな欺瞞の下にいるのである。彼らの正直、忠実さ、高潔さはこの世の一時的なことにおいて試され、証明される。もし彼らが小事に忠実ならば、大事にも忠実なのである。」（教会への証 4 卷 309）

個人的な復習問題

1. わたしたちは自分のなすすべてのことにおいて、どの思想をいつも持っているべきですか。
2. わたしたちは事業の成功に関して、何を考えることを決して自分に許してはなりません。
3. ダニエルが異教の国で働いていた間の事業の習慣から、何を学ぶことができますか。
4. もしわたしたちはだれかをだましてきたのがわかったならば、わたしたちの義務は何ですか。
5. イエスがまもなく来られることを考えて、わたしたちの働きはどのようになされるべきですか。

統治権力に対するわたしたちの義務

「それでは、カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい。」(マタイ 22:21)

「真のクリスチャンの感化力は、神の定められた働きを成し遂げるために発揮されるとき、尊い働きであり、それは政治と結合させられたり、不信者との同盟に結びつけられたりしてはならない。神が引きつける力の中心でなければならない。」(クリスチャン教育の基礎 483, 484)

推奨文献： 教会への証 6 巻 394-397;
同上 9 巻 232-244

日曜日

6 月 18 日

1. クリスチャンと国家

- a. 民間政府に対する神の民の態度はどうあるべきですか (ローマ 13:1-4; ペテロ第一 2:13, 14, 17; テトス 3:1)。神の律法がこの世の統治者たちによって破棄されるとき、わたしたちは何をすべきですか (使徒行伝 4:19)。

「神がシナイから聞こえる声で語られ、後にはご自身の指で石に刻まれたさらに高い律法と、わたしたちの国の法律が相反しない限り、それに従うことがわたしたちの義務であることをわたしは見た。」(教会への証 1 巻 361)

- b. 神の律法の抑制力の下に導かれていたならば、わたしたちの社会はどのような状態にあるでしょうか (イザヤ 48:18; 32:17)。

「神の要求に従うときに改変の力が働いて、人々の間に平和と善意をもたらすのである。神のみ言葉の教えがすべての人々の生活の支配的影響力となり、心と思いとがその抑制力のもとにおかれるならば、今日、国家的また社会的な生活の中に存在している罪悪は消滅してしまうことであろう。」(国と指導者上巻 159)

2. 神の御国の一員となる

- a. わたしたちはこの地上における市民であり、神によって定められた統治者の下にいますが、わたしたちの第一の市民権はどこにありますか（ピリピ 3:20）。イエスはご自分の御国について、何と言われますか（ヨハネ 18:36; ルカ 17:21）。

「神の国は心にはじまるのだ。」（各時代の希望中巻 310）

- b. わたしたちはクリスチャンとして、この地上にいる間に、神の御国の諸原則をどのように生きるべきですか（ヨハネ 3:5; 1:12, 13; マルコ 1:14, 15）。

「キリストのみ国は、法廷や会議や立法議会などの決定や、世俗的に有力な人たちの後援によってではなく、聖霊の働きを通して、キリストの性質が人間性のうちにうえつけられることによって、建てられるのである。『彼を受け入れた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。それらの人は、血すじによらず、肉の欲によらず、また、人の欲にもよらず、ただ神によって生れたのである』（ヨハネ 1:12, 13)。ここに人類を高めることのできるただ一つの力がある。そしてこの働きをなしとげるために人間のできることは、神のみことばを教え、実行することである。」（同上 315, 316）

- c. わたしたちは他に神の御国の性質について、何を知っていますか（詩篇 145:13; ペテロ第二 1:11）。このことは、どのように地上の政府を扱われるイエスの方法に影響を与えましたか。

「イエスの在世当時の政治は堕落していて、圧制的であった。棄てておけない悪弊—搾取、偏狭、暴虐な残酷さがいたるところにみられた。それでも救い主は、社会改革を試みられなかった。主は国民の悪弊を攻撃したり、国民の敵を非難したりされなかった。主は、権力者たちの権威や行政に干渉されなかった。われわれの模範であられたおかたは、現世の政治から遠ざかっておられた。それは、主が人々の不幸に対して無関心であられたからではなく、これを救う方法がただ人間の外面的な手段にはなかったからである。効果があるためには、救済策は個人に及び、心を生まれかわらせねばならないのである。」（同上 315）

3. クリスマン、模範的な市民

- a. イエスのどの言葉が、ときに宣誓の下での誓いに関して誤解されていますか（マタイ 5:34-37）。それでは、イエスは実際には何に言及しておられるのですか。

「わたしは『いっさい誓ってはならない』との主の言葉が、裁判所での宣誓に触れるものではないことを見た。『あなたがたの言葉は、ただ、しかり、しかり、否、否、であるべきだ。それ以上に出ることは、悪から来るのである』。これは一般の会話に言及したものである。ある人は自分の言葉を大げさにする。ある人は自分自身の命によって誓う。他の人は自分の頭にかけて一すなわち自分が生きる限り、あるいは自分に頭がある限り確かだと一誓う。ある人はそれらのことはそうであると天地を証人とする。ある人はもし自分たちが真実でないことを言ったならば、神が自分たちの存在を断ち切ってくださいようと願う。イエスがご自分の弟子たちに警告されたのは、このような通俗的な種類の警告に対してである。……

わたしは実際に必要で、また彼らが合法的なやり方で証するよう求められるときに、神の子らが自分たちの話していることが真理であり、真理以外の何ものでもないことを神が証してくださいように厳粛に述べることは、神のみ言葉を犯すものではない。」（教会への証 1 巻 201, 202）

- b. 政治に参加することについて、わたしたちの態度はどうあるべきですか。それはなぜですか（テモテ第一 2:1-3; ヘブル 11:13）。わたしたちはなぜ政党に選挙することができないのですか。

「主はご自分の民が政治的な問題を埋葬することを望んでおられる。これらの主題については沈黙が雄弁である。……わたしたちは正当に投票して安全ではいられない。なぜなら、わたしたちはだれに投票しているか知らないからである。わたしたちはどの政治的な構想にも安全に参画することはできない。」（クリスマン教育の基礎 475）

- c. なぜわたしたちは税金を払うべきなのですか（マタイ 22:21; ローマ 13:7）。

「カイザルの名前と肖像がぎざまれているローマの貨幣を手を持ちながら、イエスは、彼らがローマの権力下に生活しているのだから、神に対する義務と矛盾しない限り、ローマの求める支持を与えるべきであると宣言された。しかしその国の法律に柔順に従う一方では、いつでも神への忠誠を第一としなければならなかった。」（各時代の希望下巻 50）

4. 平和的な遵法の市民

- a. わたしたちは他の人々と、どの範囲まで平和を発展させるべきですか（マタイ 5:9; ローマ 12:18）。

「絶えず、政府の統治者たちのしたことにあら捜しをすることは賢明ではない。個人や機関を攻撃することはわたしたちの働きではない。

……わたしたちの働きは神の大いなる日に立つために、民を準備させることである。……

わたしたちは自分たちの書き物や発言から、それ自体、法律や秩序に敵対するように見えると誤解されるような表現をすべて取り除くべきである。自分の国家やその法律に不忠実であることを奨励しているものとして記録されることがないように、すべてを注意深く考慮すべきである。わたしたちは当局に反抗することを要求されてはいない。わたしたちが聖書の真理を擁護するがゆえに、反逆者として扱われるようになる時が来る。しかし、敵意や紛争をかき立てる無分別な活動によってその時を早めることがないようにしよう。」（教会への証 6 巻 394）

- b. キリストに従う人々はどういう方法で平和を促進することができますか（ローマ 12:19–21; ペテロ第一 3:8–11）。自分の兄弟姉妹に対して、わたしたちのふるまいはどうあるべきですか（マタイ 7:12）。

「正義と真理に対して最高の敬意を、そしてあらゆる残酷さと圧制に対しては憎しみを抱いていなさい。自分が他の人々からしてもらいたいと思うおりに、他の人々にしなさい。神はあなたが他の人の不利に乗じて、自己に都合よく働くことを禁じられる。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 942）

- c. 他に、なぜわたしたちは戦争へ行かないのですか（ヨハネ 18:36; マタイ 26:51, 52; ルカ 9:56）。北米の市民戦争に関して、主の使命者に与えられた地位は何でしたか。

「神の民、すなわち神の特別な宝である人々は、この複雑な戦争に携わることができないことを示された。なぜなら、それはその信仰のすべての原則に反するからである。軍隊においては、彼らは真理に従いながら、同時に彼らの長官の要求に従うことはできない。絶えず良心を犯すことになる。世俗的な人々は世俗的な諸原則によって支配される。彼らは他を正しく評価することができない。世俗的な政策と世論が彼らを治める行動の原則を構成する。……しかし、神の民はこれらの動機によって治められることはできないのである。」（教会への証 1 巻 361）

5. 不正にどのように応じるか

- a. わたしたちを不正に扱う人々を、政府の中においてさえ、わたしたちはどのように扱うべきですか（ローマ 12:19; コロサイ 4:6; エペソ 4:29）。

「当局や政府を批判することは完全に主ご自身の守りに引き受けていただく。柔和と愛をもって、わたしたちは忠実な歩哨として、イエスのうちにあるがままの真理の諸原則を擁護しよう。」（教会への証 6 巻 397）

「キリストと天が熟考の主題となると、会話がその事実の証拠を与える。言葉は恵みに味つけられ、語り手は自分が神聖な教師の学校で教育を得たことを示すのである。」（両親、教師、そして生徒への勧告 443）

「親切な言葉は魂にとって露ややさしい雨のようである。」（福音宣伝者 122）

- b. わたしたちは日曜日に礼拝するよう要求する法律に直面するとき、他の人々に仕えられたイエスの模範に、どのように従うべきですか（使徒行伝 10:38）。

「わたしたちが日曜日を伝道の働きに捧げるならば、セブンスデー・アドベンチストを辱めることを大いに喜ぶ専横的な熱狂者たちの手から、むちを取り上げることになるであろう。わたしたちが日曜日に人々を訪問し、彼らに聖書を開く働きに従事しているのを見ると、彼らは日曜法令を作ってわたしたちの働きを妨げようとしても無駄であることがわかるようになる。」（教会への証 9 巻 232, 233）

個人的な復習問題

1. わたしたちの国の法律に関して、何がわたしたちの義務ですか。
2. なぜイエスは世の政府から離れておられたのですか。
3. 何がわたしたちを投票することをやめさせるべきなのですか。またそれはなぜですか。
4. なぜわたしたちは政府の統治者たちを批判すべきではないのですか。
5. わたしたちの言葉を通して、どのように良い方法で証人となることが出来ますか。これはしばしばどのように悪い方法でなされますか。

第一安息日献金



4月1日

モスクワの教会拡張のために
(4 ページ参照)

5月6日

世界のミッションのために
(30 ページ参照)



6月3日

マドリッドの教会地所のために
(51 ページ参照)